

LUMIX



保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4 ~ 8 ページ) を必ずお読みください。
- さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式) に記載されています。
Web サイトからダウンロードしてお読みください。(82 ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町 1 丁目 10 番 12 号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2017

Panasonic®

取扱説明書 デジタルカメラ

品番 DC-TZ90

安全上のご注意

準備

基本操作

撮る

見る

メニュー

Wi-Fi

その他・Q&A

DVQX1221ZC

M0417KZ2092

目次

必ずお読みください

安全上のご注意 4 ~ 8

準備

ご使用の前に.....	9
付属品.....	10
各部の名前と働き.....	11
バッテリーを充電する.....	14
カード（別売）について.....	16
電源を入れて、時計を設定する.....	18

基本操作

カメラの構え方.....	19
モニターの角度を調整する.....	19
モニター / フайнダーの 切り換え.....	20
写真を撮る.....	20
ズームを使う.....	21
撮影モードを選ぶ.....	21
リング / ダイヤル操作.....	22
タッチ操作.....	22
メニューを使って設定する.....	23
メニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー).....	24
ファンクションボタンに機能を 割り当てる.....	24

撮る

【A】 カメラにおまかせで撮る ...	26
自分撮りをする ...	27
絞り値とシャッタースピードを 決めて撮る ...	30
【C】 お好みの設定を登録して撮る ...	31
【D】 パノラマ写真を撮る ...	32
【E】 撮影シーンに合わせて撮る ...	32
【F】 画像効果を変えて撮る ...	33
自動でピントを合わせる ...	33
近づいて撮る（マクロ撮影）...	34
手動でピントを合わせる ...	34
ピントや露出を固定する (AF/AE ロック) ...	35
露出を補正して撮る ...	36
ホワイトバランスを調整する ...	36
4K フォトで撮る ...	37
撮影後にピントを操作する (フォーカスセレクト / フォーカス合成) ...	40
ドライブモードを選ぶ (連写 / セルフタイマー) ...	43
設定を自動的に変えながら撮る (ブラケット撮影) ...	44
フラッシュを使って撮る ...	45
動画・4K 動画を撮る ...	46
【M】 4K ライブクロップで 動画を撮る ...	48

見る

画像を見る ...	50
再生方法を切り換える ...	51
写真や動画を消す（消去）...	52
メニュー	
メニュー一覧 ...	52
Wi-Fi	
Wi-Fi [®] 機能でできること ...	64
Wi-Fi 機能について ...	64
スマートフォンとつないで使う ...	66
その他・Q&A	
ソフトウェアをダウンロードする ...	70
モニター / フайнダーの 表示一覧 ...	72
メッセージ表示 ...	76
Q&A 故障かな？と思ったら ...	77
使用上のお願いとお知らせ ...	81
さらに詳しい説明は ...	82
無線 LAN 使用上のお願い ...	84
仕様 ...	85
CLUB Panasonic	
商品登録のご案内 ...	87
保証とアフターサービス ...	88

■取扱説明書について

取扱説明書（本書）

安全上のご注意、時計設定、撮影／再生、Wi-Fi 接続など、カメラの基本的な操作を記載しています。

取扱説明書 活用ガイド（Web サイトからダウンロード）

それぞれの機能について、さらに詳しい操作説明を記載しています。（P.82）

■撮影モード表示について

アイコンが黒く表示されている撮影モードでは、記載されているメニュー や機能を選択／実行できます。

（C）（カスタムモード）は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。

撮影モード：         

■本文中の記号について

MENU [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

 上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

メニュー設定の手順を次のように説明しています。

例）【撮影】メニューで、【クオリティ】を【】に設定する

MENU ボタン→  【撮影】→【クオリティ】→【】

• リング、ダイヤル、レバーの操作を次のように表します。

コントロールリングを回す	
コントロールダイヤルを回す	
ズームレバーを回す	

- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ
が大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれ
がある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産
の損害が発生するおそれが
ある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーパック^{*}は、誤った使いかたをしない
(^{*}以降は、「バッテリー」と表記)



- 液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。
- ・指定外のものは使わない
 - ・分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
 - ・水などの液体や火の中へ入れたりしない
 - ・炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
 - ・極端に気圧が低い場所で充電・使用しない
 - ・端子部（ \oplus ・ \ominus ）に金属を接触させない
 - ・落下や衝撃を与えない
 - ・バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

バッテリーの充電は、本体または専用充電器を使用する



指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体や AC アダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- AC アダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグがすぐ抜けるよう、AC アダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

電源プラグは、正しく扱う



感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）

- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

AC アダプターは、誤った使いかたをしない



感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V 以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



- ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
- ・機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
 - ・特にお子様にはご注意ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない



- 火災や爆発の原因になります。
- ・粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない



- 感電の原因になります。
- ・本体や AC アダプターには、金属部があります。

接触禁止

乗り物の運転中に使わない



- 事故の誘発につながります。
- ・歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない



- 事故の誘発につながります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない



- 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- ・万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

⚠ 警告

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

🚫 本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因になります。
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

* 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

航空機内では電源を切る*

⚠ 運航の安全に支障をきたすことがあります。
* やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線 LAN 機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以上離す

⚠ 本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

⚠ 本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る

⚠ 本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

⚠ 本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意

フラッシュ発光部および AF 補助光は、至近距離で直接見ない



誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない



視力障害などの原因になることがあります。

- ・乳幼児を撮影するときは、1 m 以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない



やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- ・発光直後は、しばらく触らないでください。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない



集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

次のような場所に放置しない



火災や感電の原因になることがあります。

- ・異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- ・油煙や湯気の当たるところ
- ・湿気やほこりの多いところ

次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す



通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ・長期間使わないとき
- ・お手入れのとき

AC アダプターの放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- ・本棚やラックの中など狭い空間に設置しない
- ・新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

●下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、ファインダー、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

- ・本機を落とす、またはぶつける
- ・本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
- ・本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
- ・レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

●下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。

- ・砂やほこりの多いところ
- ・雨の日や浜辺など水がかかるところ

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

ゴムやビニール製品に本機を接触させたままにしないでください。

■露付きについて

(レンズやモニター、ファインダーが曇るとき)

●露付きは、温度差や湿度差があると起こります。

レンズやモニター、ファインダーの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。

●露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。

個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

付属品



付属品をご確認ください。
(品番は2017年5月現在)

<input type="checkbox"/> バッテリーパック DMW-BLG10	
● 充電してからお使いください。 (本書では、「バッテリー」と表記します)	
<input type="checkbox"/> AC アダプター SAE0012B	
● 充電に使用します。 (本書では、「AC アダプター（付属）」と表記します)	
<input type="checkbox"/> USB 接続ケーブル K1HY04YY0106	
<input type="checkbox"/> ハンドストラップ VFC4297	

● メモリーカードは別売です。

(本書では「カード」と表記します)

● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

● 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

■別売品のご紹介（品番は2017年5月現在）

バッテリーパック DMW-BLG10

バッテリーチャージャー^{※1} DMW-BTC9

(充電時間：約190分)

AC アダプター DMW-AC9

(充電時間：約160分)

DC カプラ^{※2} DMW-DCC11

AC アダプター^{※2} DMW-AC10

^{※1} 海外用変換プラグ（Cタイプ）付き

^{※2} AC アダプターと DC カプラ^{※2}は、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。ご使用中はバッテリー残量を気にせず撮影・再生ができます。

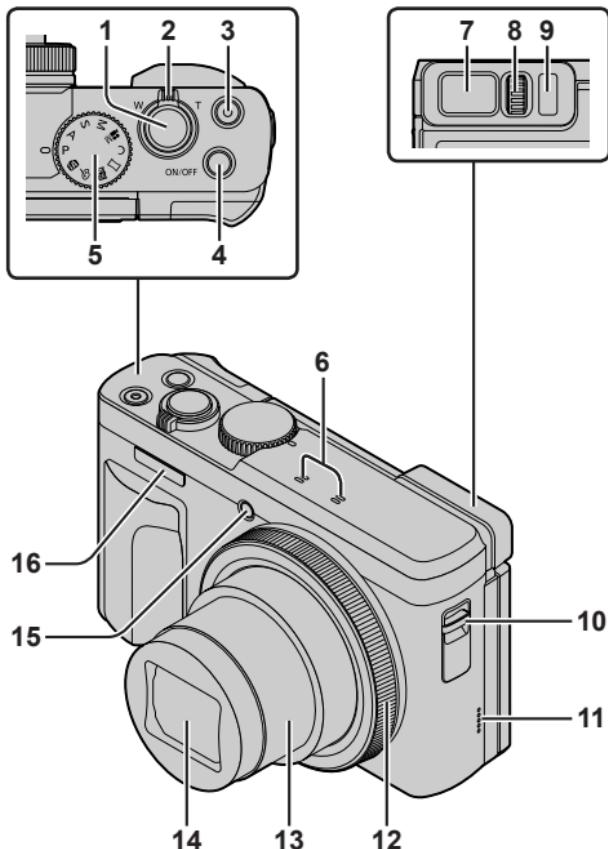
付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。



パナソニックグループのショッピングサイト
<https://ec-plus.panasonic.jp/>

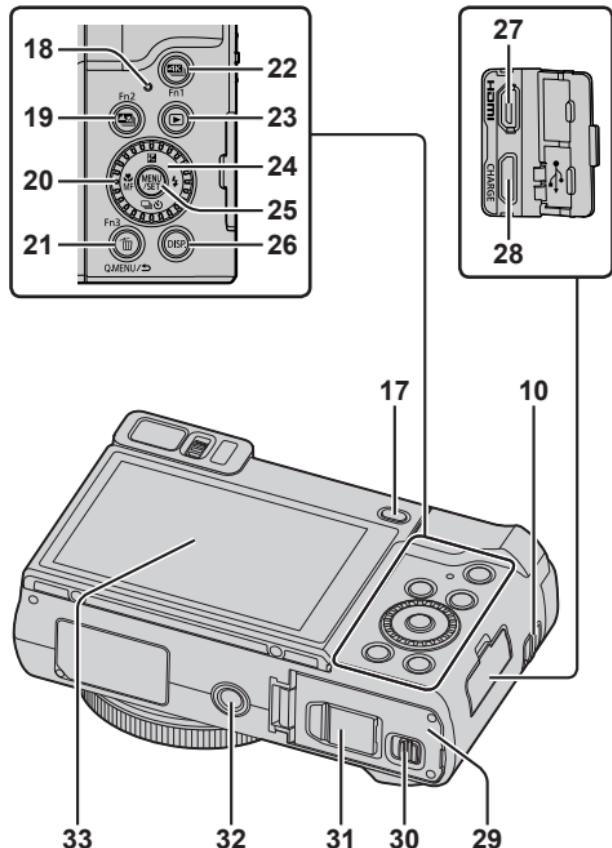
各部の名前と働き



- 1 シャッターボタン (P.20)
2 ズームレバー (P.21)
3 動画ボタン (P.46)
4 電源ボタン (P.18)
5 モードダイヤル (P.21)
撮影モードを設定できます。
6 ステレオマイク (P.19)
指などで塞がないようにしてください。音が記録されにくくなります。
7 ファインダー (P.20、72)
8 視度調整ダイヤル (P.20)
9 アイセンサー (P.20)
10 ストラップ取り付け部 (P.12)
11 スピーカー (P.19)
12 コントロールリング (P.22)
13 レンズ鏡筒
14 レンズ部
15 セルフタイマーランプ (P.43) /
AF補助光ランプ (P.19)
16 フラッシュ発光部 (P.19、45)

各部の名前と働き

続き



10 ストラップ取り付け部



② 落下防止のため、必ずハンドストラップを取り付け、手首に通してご使用ください。

17 [LVF] ボタン (P.20) / [Fn 4] ボタン (P.24)
ファンクション

18 充電ランプ (P.15) /Wi-Fi® 接続ランプ (P.65)

19 [■] (フォーカスセレクト) ボタン (P.40) /
ファンクション
[Fn 2] ボタン (P.24)

20 コントロールダイヤル (P.22)

クイックメニュー

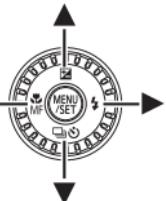
21 [Q.MENU/◀] (戻る) ボタン (P.24) /
[▲] (消去) ボタン (P.52) /
ファンクション
[Fn 3] ボタン (P.24)

22 [4K] (4K フォトモード) ボタン (P.37) /
ファンクション
[Fn 1] ボタン (P.24)

23 [▶] (再生) ボタン (P.50)

24 カーソルボタン

メニューを表示したり、項目の選択や、数値の設定などができます。
・本書ではカーソルボタンの上下左右を **▲▼◀▶** で表します。



[] (露出補正) (**▲**) (P.36)

[] (フラッシュ) (**▶**) (P.45)

[] (ドライブモード) (**▼**) (P.43)

[] (フォーカスマード) (**◀**) (P.33～35)

25 [MENU/SET] ボタン (P.23)

設定内容の決定などができます。

26 [DISP.] ボタン

画面の表示を切り替えます。

27 [] 端子

本機とテレビを HDMI マイクロケーブルで接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。

28 [] 端子 (P.15)

29 カード / バッテリー扉 (P.14、16)

30 開閉レバー (P.14、16)

31 DC カプラー扉 (P.10)

AC アダプターを使用するときは、当社製の AC アダプター（別売：DMW-AC10）と DC カプラー（別売：DMW-DCC11）を使用してください。

32 三脚取り付け部

ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかりと固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。

33 タッチパネル (P.22) / モニター (P.20、72)

■ファンクションボタン

[Fn5] ～ [Fn9] について

- ・[Fn5] ～ [Fn9] (P.24) は、タッチアイコンです。撮影画面の [] タブをタッチすると表示されます。

バッテリーを充電する

本機専用の AC アダプター（付属）、USB 接続ケーブル（付属）、バッテリーを使用してください。

- ・本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。温度が高すぎたり低すぎたりすると、使用時間が短くなります。
- ・お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。
- ・本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。

本機の状態	充電
電源オフ	できます
電源オン	できません

- ・AC アダプター（別売：DMW-AC9）でも、本機にバッテリーを入れて充電できます。
- ・バッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC9）でも充電できます。

■本機で使えるバッテリー（2017年5月現在）

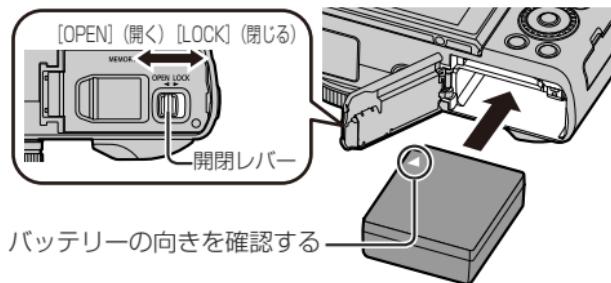
本機で使えるバッテリーは DMW-BLG10 です。

- AC アダプター（付属）と USB 接続ケーブル（付属）は本機専用です。他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 付属の AC アダプターまたは当社製 AC アダプター（別売：DMW-AC9）以外は使わないでください。故障の原因になります。

14 ● 使用後は、バッテリーを取り出してください。

バッテリーを入れる

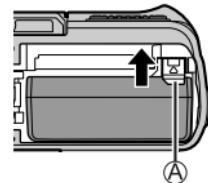
- 1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドさせて、カード / バッテリー扉を開ける
- 2 バッテリーを奥まで入れる
 - ・バッテリーを奥まで確実に挿入し、バッテリーにレバー（Ⓐ）がかかるていることを確認する
- 3 カード / バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドさせる



■取り出す

レバー（Ⓐ）を矢印方向へ引く

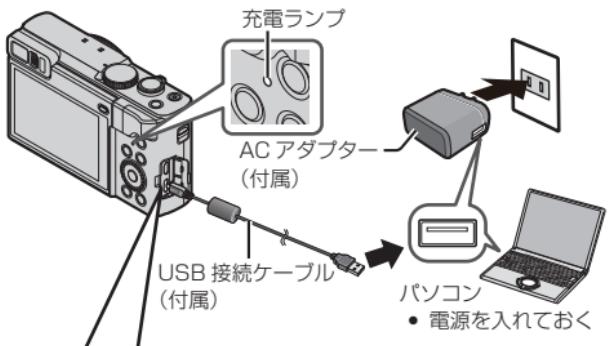
- ・バッテリーの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。



充電する

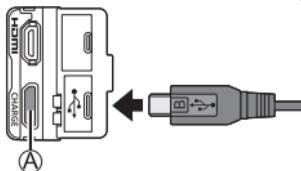
充電は周囲の温度が 10 ℃～30 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで行うことをお勧めします。

本機にバッテリーを入れてください。
電源が切れていることを確認してください。



Ⓐ : [USB/CHARGE] 端子

- カメラを立てたときに下にある端子です。
- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



■電源コンセントから充電する場合

本機を USB 接続ケーブル（付属）で AC アダプター（付属）につなぎ、AC アダプターを電源コンセントに差し込む。

- 電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、AC アダプター（付属）を電源コンセントから抜いてください。

■パソコンから充電する場合

本機を USB 接続ケーブル（付属）でパソコンの USB 端子につなぐ。

- 充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
- 必ずパソコン本体の USB 端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターの USB 端子や USB ハブには接続しないでください。

充電ランプ表示について

点灯：充電中

消灯：充電終了（充電終了後は、電源コンセントまたはパソコンとの接続を解除してください）

点滅：充電エラー（P.77）

- AC アダプター（付属）やパソコンにつないでも本機の充電ランプが点灯しない場合は、正しく接続しているか確認してください。

バッテリーを充電する

続き

- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。

■充電時間について

AC アダプター（付属）使用時	約 190 分
-----------------	---------

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
- パソコンからの充電時間は、パソコンの給電能力によって異なります。

■海外旅行先で使う

AC アダプター（付属）は、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

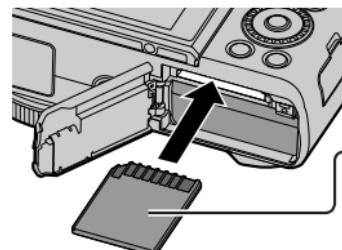
- 電源電圧（100 V ~ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは AC アダプターと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

カード（別売）について

カードを入れる・取り出す

電源が切れていることを確認してください。

- 1 開閉レバーを【OPEN】側にスライドさせて、カード / バッテリー扉を開ける
- 2 カードを奥へ、「カチッ」と音がするまで押し込む

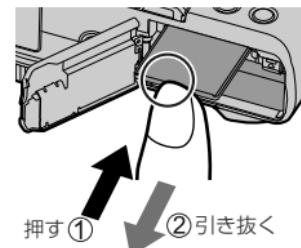


- 3 カード / バッテリー扉を閉め、開閉レバーを【LOCK】側にスライドさせる

■取り出す

カードの中央を押す

- カードの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。



■カードについて

SD 規格に準拠した次のカードが使用できます。

SD メモリーカード / microSD カード*	512 MB ~ 2 GB
SDHC メモリーカード / microSDHC カード*	4 GB ~ 32 GB
SDXC メモリーカード / microSDXC カード*	48 GB ~ 128 GB

* 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

- ・上記の当社製カードで動作確認済みです。
- ・本機は UHS-I UHS Speed Class 3 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。

■動画撮影や 4K フォトの撮影とスピードクラスについて

動画の [記録方式] や [画質設定] (P.47) によって必要なカードが異なります。

4K フォトの撮影には対応したスピードクラスのカードが必要になります。

[記録方式]	[画質設定]	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS 4 4
MP4	FHD/HD		
MP4	4K/ハイスピード動画	UHS Speed Class 3	3 3
4K フォト / フォーカスセレクト撮影時		UHS Speed Class 3	3 3

- ・最新情報 : <http://panasonic.jp/support/dsc/>

■カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。

フォーマットするとデータを元に戻すことができません。必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

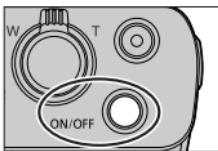
[MENU] ボタン →  [セットアップ] → [フォーマット]

電源を入れて、時計を設定する

お買い上げ時は日時が設定されていません。

1 電源ボタンを押す

- お買い上げ時、電源を入れると【時計を設定してください】と表示されます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀▶ で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、▲▼ で設定する



4 [MENU/SET] ボタンを押す

5 【時計を設定しました】と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す

6 【ホームエリアを設定してください】と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す

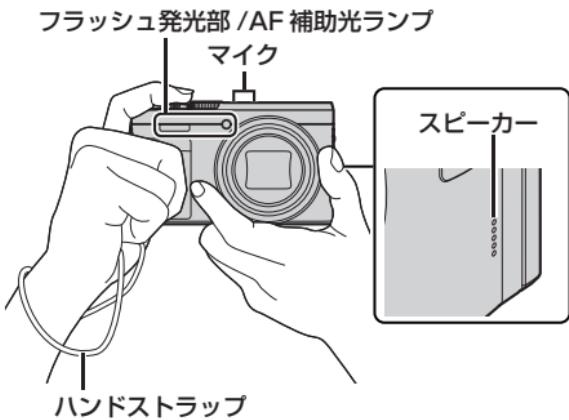
7 ◀▶ でお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



カメラの構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

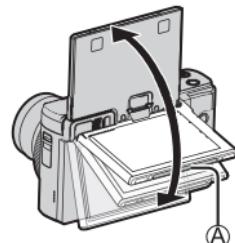
- ・落下防止のため、必ずハンドストラップを取り付け、手首に通してご使用ください。
- ・フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- ・シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- ・足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。



モニターの角度を調整する

モニターの角度を調整することができます。

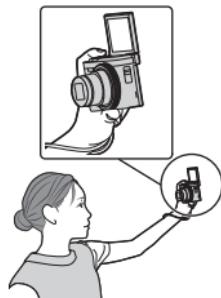
- ・モニターに指などを挟まないようにお気をつけてください。
- ・モニターを回転させるとときは、無理な力を加えないようお気をつけてください。
傷や故障の原因になります。
(Ⓐに指を添えて開閉してください。)
- ・本機を使用しないときは、モニターを元の位置に完全に閉じてください。



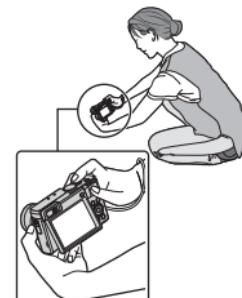
■いろいろな角度で撮る

モニターの角度を調節すると、さまざまな角度からの撮影が可能になり便利です。

自分撮り (P.27)



ローアングル撮影

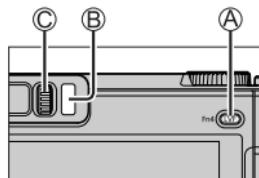


モニター / ファインダーの切り換え

1 [LVF] ボタン (Ⓐ) を押す

- 以下のように切り換わります。

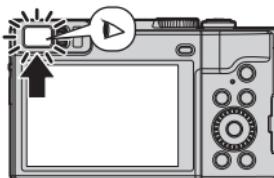
ファインダー /
モニター自動切換 → ファインダー表示 → モニター表示



Ⓐ: [LVF] ボタン
Ⓑ: アイセンサー
Ⓒ: 視度調整ダイヤル

■ ファインダー / モニター自動切換について

ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサー (Ⓑ) の働きにより、モニター表示が自動的にファインダー表示へと切り換わります。目や物を離すとモニター表示に戻ります。



■ 視度調整について

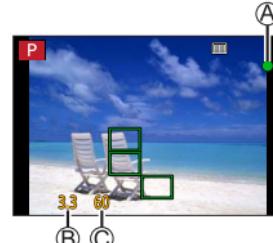
ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤル (Ⓒ) を回して調整してください。

- モニターを開くと自動的にモニター表示に切り換わり、[LVF] ボタンとアイセンサーは無効になります。

写真を撮る

1 シャッターを半押し (軽く押す) して被写体にピントを合わせる

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。
(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)



Ⓐ: フォーカス表示
(ピントが合う: 点灯
ピントが合わない: 点滅)
Ⓑ: 絞り値
Ⓒ: シャッタースピード

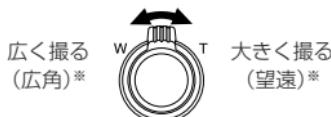
2 シャッターを全押し (さらに押し込む) して撮影する

- [フォーカス / レリーズ優先] (P.55) が [フォーカス] に設定されていると、ピントが合うまで撮影できません。

■ 撮影した画像を確認する

- [オートレビュー] (P.55) が働き写真撮影後に撮影画像を表示します。
- [□] (再生) ボタンを押すと、画像が表示されます。 (P.50)

ズームを使う



* 回す角度の大きさにより、ズームスピードが変わります。

■ズームの種類と用途

光学ズーム：

画質を劣化させずに最大 30 倍まで拡大します。

EX 光学ズーム：

[EX] 付きの記録画素数 (P.56) を選ぶと動きます。画像を劣化させずに最大 59.2 倍まで拡大します。(光学ズームの倍率を含みます。また記録画素数により変わります。)

iA ズーム：

[iA ズーム] (P.54) を [ON] すると、超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の 2 倍 ([記録画素数] (P.56) を [S] に設定時は、元のズーム倍率の 1.5 倍) までズーム倍率を上げることができます。

デジタルズーム：

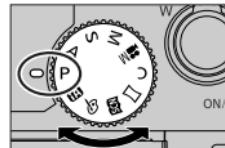
[デジタルズーム] (P.54) を [ON] すると、最大ズーム倍率がさらに 4 倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。iA ズームを併用時には、倍率が 2 倍までに制限されます。

- [ライブビューモード] (P.55) を [ECO 30fps] に設定時は使用できません (お買い上げ時の設定)

撮影モードを選ぶ

1 モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



iA インテリジェントオートモード (P.26)

iA+ インテリジェントオートプラスモード (P.26)

P プログラム AE モード (P.30)

A 絞り優先 AE モード (P.30)

S シャッター優先 AE モード (P.30)

M マニュアル露出モード (P.31)

M+ クリエイティブ動画モード (P.47、48)

C カスタムモード (P.31)

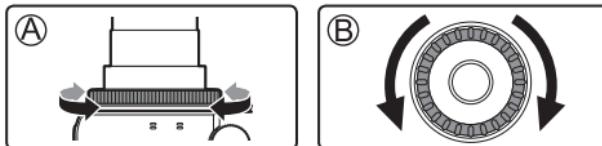
□ パノラマモード (P.32)

SCN シーンガイドモード (P.32)

⌚ クリエイティブコントロールモード (P.33)

リング / ダイヤル操作

撮影時は、コントロールリング（Ⓐ）/コントロールダイヤル（Ⓑ）で設定を変更することができます。



以下はあらかじめ割り当てられている設定です。

- ・絞りとシャッタースピードの操作方法は、各撮影モードのページをお読みください。

モードダイヤル	Ⓐ コントロールリング ^{※1}	Ⓑ コントロールダイヤル
Ⓐ	ステップズーム	—
P (P.30)	プログラムシフト	—
A (P.30)	絞り調整	—
S (P.30)	シャッタースピード調整	—
M (P.31)	絞り調整	シャッタースピード調整
■M (P.47)	絞り調整 / シャッタースピード調整	—
口/	—	画像効果変更
SCN	絞り調整 ^{※2} / シャッタースピード調整 ^{※3}	—

^{※1} マニュアルフォーカス設定時、コントロールリングはピント調整に割り当てられます。

^{※2} [料理をおいしそうに撮る] に設定時のみ操作できます。

^{※3} [夜景をアーティスティックに撮る] に設定時のみ操作できます。

- 割り当てられた操作は、[リング / ダイヤル設定] (P.55) から、それぞれをお好みの設定に変更することもできます。

タッチ操作

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。
タッチパネルは直接指でタッチしてください。

■タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。アイコンの中央付近をタッチしてください。



■ドラッグする

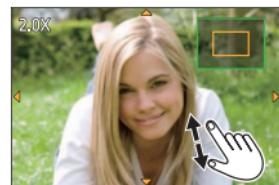
タッチパネルに触れたまま動かす動作です。
再生時は画像を送ることなどもできます。



■ピンチする

(広げる / 縮める)

タッチパネルを2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。



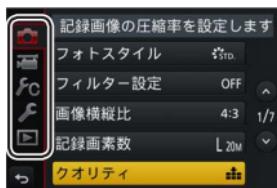
メニューを使って設定する

1 [MENU/SET] ボタンを押す

 [撮影] (P.53~)	画像横縦比、画素数、4K フォトなどを設定できます。
 [動画] (P.54)	記録方式や画質などが設定できます。
 [カスタム] (P.55)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
 [セットアップ] (P.55)	時計設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
 [再生] (P.56)	画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。

■メニューの種類を切り換える

- ①◀を押す
- ②▲▼で [] などのタブを選ぶ
- ③ [MENU/SET] ボタンを押す



2 ▲▼でメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- ・[DISP] ボタンを押したり、ズームレバーを回したりして、ページを切り換えることができます。

3 ▲▼で設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- ・メニュー項目により、設定方法が異なります。



4 撮影 / 再生画面に戻るまで、繰り返し [Q.MENU/] ボタンを押す

- ・撮影時は、シャッター ボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。

- ・メニュー項目などを選ぶ操作は、コントロールダイヤルを回しても操作できます。

メニューをすぐに呼び出す（クイックメニュー）

撮影時、一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。

- 1 [Q.MENU/] ボタンを押す
- 2 コントロールダイヤルを回してメニュー項目を選び、▼ または ▲ を押す



- 3 コントロールダイヤルを回して設定内容を選ぶ
- 4 [Q.MENU/] ボタンを押してクイックメニューを終了する

ファンクションボタンに機能を割り当てる

特定のボタンやアイコンに、よく使う機能を割り当てることができます。

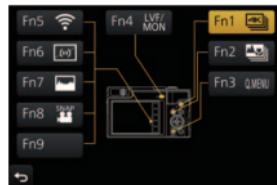
- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。

1 メニューを設定する (P.23)

MENU ボタン → fc [カスタム] → [Fn ボタン設定]

設定：【撮影時設定】 / 【再生時設定】

- 2 ▲ ▼ で機能を割り当てるファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 3 ▲ ▼ で割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ファンクションボタン（[Fn1] ～ [Fn4]）を長押し（2秒）すると、手順 3 で表示される割り当て画面を表示することができます。

■ [撮影時設定] で割り当てる機能

[撮影] メニュー / 撮影機能	[動画] メニュー
<ul style="list-style-type: none"> • 4K フォトモード : [Fn1]* • フォーカスセレクト : [Fn2]* • Wi-Fi : [Fn5]* • Q.MENU : [Fn3]* • LVF/ モニター切換 : [Fn4]* • LVF/ モニター表示スタイル • AF/AE LOCK • AF-ON • プレビュー • ワンプッシュ AE • タッチ AE • 水準器表示 : [Fn6]* • フォーカスエリア選択 • フォトスタイル • フィルター効果 • 画像横縦比 • 記録画素数 • クオリティ • ISO 感度 <ul style="list-style-type: none"> • ホワイトバランス • オートフォーカスモード • AFS/AFF/AFC • 測光モード • ブラケット • iD レンジコントロール • 超解像 • HDR • シャッター方式 • フラッシュ光量調整 • iA ズーム • デジタルズーム • 手ブレ補正 • 露出補正 • フラッシュモード • フォーカスモード • ドライブモード • デフォルトに戻す 	<ul style="list-style-type: none"> • 4K ライブクロップ • スナップムービー : [Fn8]* • 動画記録方式 / 画質設定 <p data-bbox="906 274 1334 305">[カスタム] メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> • サイレントモード • ピーキング • ヒストグラム表示 : [Fn7]* • ガイドライン表示 • ゼブラパターン表示 • モノクロライブビュー • 記録枠表示 • ズームレバー • タッチパネル

* お買い上げ時のファンクションボタン設定
([Fn9] はお買い上げ時にファンクションボタン設定されていません)

- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[デフォルトに戻す] を選んでください。

【IA】カメラにおまかせで撮る

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 モードダイヤルを【IA】に合わせる

- ・【IA】または【iA】のどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。
お買い上げ時の設定：【IA】

2 被写体にカメラを向ける

- ・カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。(自動シーン判別)

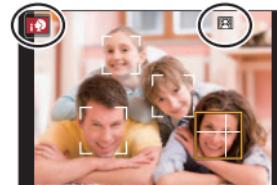


■【IA】と【iA】を切り換える

- ①撮影画面左上の撮影モードアイコンをタッチする
 - ②【IA】または【iA】を選び、[決定]をタッチする
- ・【IA】は、【iA】の設定に加えて明るさや色合いなどの設定を変更できるので、よりお好みに合わせた撮影ができます。



■オートフォーカス（顔・瞳認識）



オートフォーカスモードは自動で【】に設定されます。被写体をタッチすると【】に切り換わり、追尾AF機能が働きます。

[MENU/SET] ボタンを押し、[撮影] メニューの[オートフォーカスモード]で【】(追尾)を選択しても、【】に切り換わります。被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しすると追尾AF機能が働きます。

■フラッシュ

▶を押して【A】(オート)を選ぶと、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で【A】、【A】(赤目軽減オート)、【A】または【A】に設定します。

自分撮りをする

撮影モード : **IA** **FA** **P** **AS** **SM** **SCN** **6**

画面を確認しながら簡単に自分撮りができます。

1 モニターを下の図のよう回転させる

2 設定項目をタッチする

- ・  をタッチすると、4K フォトで撮影することができます。(4K セルфиー)
「フィルター選択」のみ設定可能です。
撮影方法は、「4K フォトで撮る」の手順 **2～3** をお読みください。(P.37)



 美肌効果	人物の顔を明るく、肌色を滑らかにします。
 フィルター選択	自分撮りに合う画像効果(フィルター)を加えます。
 背景コントロール	検出した顔の背景のぼかし具合を設定します。 [] (ぼかし) : 検出した顔の背景をぼかします。(ただし、後ろのほうに離れている顔は背景と一緒にぼけます) [] (くっきり) : 顔と背景をくっきりと撮影します。

 スリムモード	人物をスリムに撮影します。
 シャッター	シャッター動作を開始する方法を設定します。
 カウントダウン / 撮影枚数	撮影までの秒数([カウントダウン])と、連続撮影する枚数([撮影枚数])を設定します。

3 スライドバーをタッチする

- ・ [OFF]、[1]～[10]の範囲で設定できます。



- ・ 以下の設定項目はアイコンから選びます。
 - [フィルター選択]
 - [背景コントロール]
 - [シャッター]
 - [撮影枚数]

撮
る

4 [終了] をタッチする

5 モニターを見ながらポーズを決める

6 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- ・ 撮影時はレンズを見てください。
- ・ フラッシュや AF 補助光の光を直接見ないようお気をつけください。

自分撮りをする

続き

■シャッター動作の開始方法を変更する

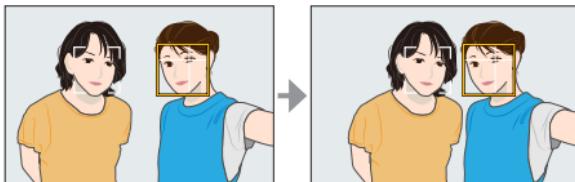
[シャッター] でシャッターボタンを押さずに撮影を開始する方法を選択できます。シャッター操作による手ブレが起こるときなどにお勧めの撮影方法です。

[] (タッチ) :

画面に表示されている被写体をタッチするだけで、ピントを合わせて写真を撮影します。

[] (フレンドリー) :

顔・瞳認識機能を使って、認識した2つの顔が近づいたときにシャッター動作を開始します。



①顔・瞳認識の枠が2つ表示されている状態にする

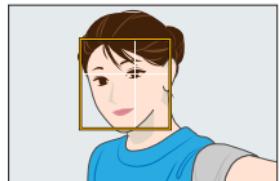
- [] (フレンドリー) 設定時は、被写体が複数人いても、顔・瞳認識の枠は2つまでになります。

②2つの枠が一定距離以内に近づくと、シャッター動作を開始します

[] (フェイス) :

顔・瞳認識機能を使って、認識した顔を手などで隠してから再度認識させるとシャッター動作を開始します。

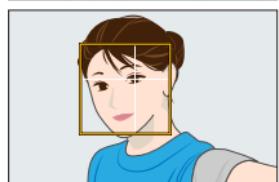
①顔・瞳認識の黄色の枠が表示されている状態にする



②手などで顔を隠して黄色の枠を一時的に消す



③手を外して黄色の枠を表示させると、シャッター動作を開始します



- [シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影を開始できます。

【□】パノラマモードで自分撮りをする

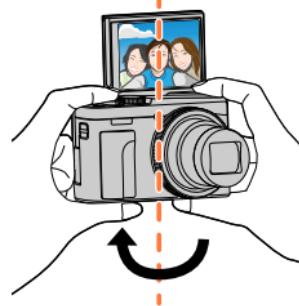
パノラマモードで撮影することで、友人たちとの集合写真や、背景も広く入れた記念写真など、さまざまな自分撮り写真を楽しむことができます。

- 1 モードダイヤルを【□】に合わせる
- 2 モニターを回転させて自分撮りモードにする
- 3 撮影方法の説明を読み、【次へ】または【開始】をタッチする
- 4 カメラを正面に向けて、モニターを見ながらポーズを決める
- 5 シャッターボタンを半押し（または全押し）して、ピントと露出を固定する
 - [AE-L] をタッチすると、やり直せます。
- 6 撮影の開始位置へカメラを向けてシャッターボタンを全押しし、手順 3 の画面で表示された撮影方法の方向へ回転させて撮影する
- 7 もう一度、シャッターボタンを全押しして撮影を終了する
 - 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
 - ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

撮影のコツ

両手で本機を持ち、揺らさないように気をつけながら、カメラの中心を軸にして回転させるように撮影方向へ動かす。

例)



- 揺れが大きいと撮影できなかったり、出来上がりのパノラマ写真が細く（小さく）なります。
- 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かしてください。（最後の1コマは端まで記録されません）
- 撮影中に表情を変えたり、まばたきなどをするとなaturallyに撮影される場合があります。なるべく動かないようにしてください。

- 自分撮りモードでは、ズームをW端にして撮影することをお勧めします。
- 自分撮りモードでのパノラマ写真は、カメラと被写体との距離が近いため、画像の端の歪みが目立つ場合があります。

絞り値とシャッタースピードを決めて撮る

設定できる値は、絞り値、シャッタースピード、ズーム位置などの組み合わせによって変わります。

- シャッターボタン半押し時に適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色点滅します。

[P] プログラム AE モード

被写体の明るさに応じて、絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

絞り値とシャッタースピードの組み合わせを変更する

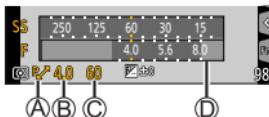
プログラムシフトを使うと、プログラム AE モードでも絞り値やシャッタースピードを調整して撮影できます。

1 モードダイヤルを [P] に合わせる

2 シャッターボタンを半押しする

3 数値が表示されている間（約 10 秒間）に、コントロールダイヤルを回してプログラムシフトする

- プログラムシフトを解除するには、電源を切るか、プログラムシフト表示が消えるまでコントロールダイヤルを回してください。



Ⓐ：プログラムシフト表示

Ⓑ：絞り値

Ⓒ：シャッタースピード

Ⓓ：露出メーター

[A] 絞り優先 AE モード

絞り値を決めて撮影します。

1 モードダイヤルを [A] に合わせる

2 コントロールダイヤルを回して絞り値を設定する



[S] シャッタースピード優先 AE モード

シャッタースピードを決めて撮影します。

1 モードダイヤルを [S] に合わせる

2 コントロールダイヤルを回して、シャッタースピードを設定する



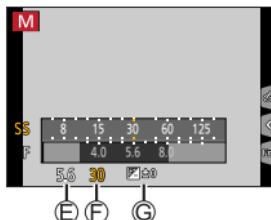
【M】マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

1 モードダイヤルを【M】に合わせる

2 コントロールリングを回して絞り値を、コントロールダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- ▲を押すと、コントロールリングとコントロールダイヤルの設定操作を切り換えることができます。



絞り値とシャッタースピードにISO感度を合わせる

ISO感度を【AUTO】に設定時、設定した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO感度をカメラが自動的に設定します。

マニュアル露出アシスト（目安）



適正露出

/



明るく写る

/



暗く写る

【C】お好みの設定を登録して撮る

設定を登録する（カスタムセット登録）

現在のカメラの設定内容を【カスタムセット登録】で3つまで登録しておくことができます。（【C1】、【C2】、【C3】）

準備：あらかじめ撮影モードやメニューを設定して、本機の設定を保存したい状態にしておく。

MENUボタン→ **fc**【カスタム】→【カスタムセット登録】
→登録したいカスタムセット

登録したカスタムセットで撮る

1 モードダイヤルを【C】に合わせる

- 最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。

撮る

■カスタムセットを変更する

- モードダイヤルを【C】に合わせる
- 【MENU/SET】ボタンを押して、メニューを表示する
- ◀▶で使いたいカスタムセットを選び、
【MENU/SET】ボタンを押す

【□】パノラマ写真を撮る

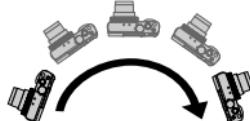
カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

1 モードダイヤルを【□】に合わせる

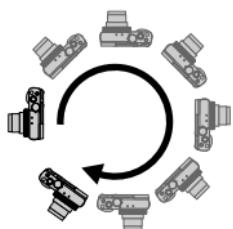
2 シャッターボタンを半押しして、
ピントを合わせる

3 シャッターボタンを全押しして、
撮影方向へ小さな円を描くように
カメラを動かして撮影する

左から右に撮影する場合



画像サイズ：標準の場合



画像サイズ：ワイドの場合

4 もう一度、シャッターボタンを全押し
して撮影を終了する

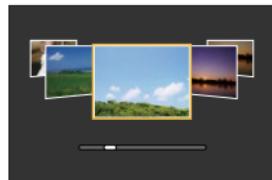
- [パノラマ設定] (P.53) から、撮影方向や画角 (画像サイズ) を変更することができます。

【SCN】撮影シーンに合わせて撮る

被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、
シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを【SCN】に合わせる

2 ◀▶でシーンを選ぶ



3 [MENU/SET] ボタンを押す



シーンの説明や撮影のヒントを表示する

シーン選択画面で【DISP.】ボタンを押す

ガイド表示では、各シーンの詳しい説明や撮影のヒント
が表示されます。

(【DISP.】ボタンを押すごとに、通常表示→ガイド表示
→一覧表示の順に画面が切り換わります)

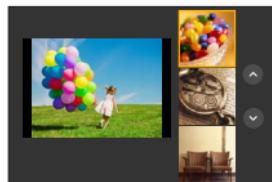
- シーンを変更したい場合は、メニュー画面で
【SCN】タブを選び、[シーン切換] を選んで
[MENU/SET] ボタンを押すと手順 2に戻ります。

【】 画像効果を変えて撮る

画像に効果を加えて撮影することができます。

1 モードダイヤルを【】に合わせる

2 ▲▼で画像効果（フィルター）を選ぶ



3 [MENU/SET] ボタンを押す



画像効果の説明を表示する

画像効果選択画面で [DISP.] ボタンを押す

ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。
([DISP.] ボタンを押すごとに、通常表示→ガイド表示
→一覧表示の順に画面が切り換わります)

- 画像効果を変更したい場合は、メニュー画面で【】タブを選び、[フィルター効果] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと手順 2 に戻ります。

自動でピントを合わせる

撮影モード：        

被写体や撮影状況に合わせて、さまざまなシーンに対応した自動でのピント合わせができます。

1 ボタン (◀) を押す

2 ◀▶で [AF] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[撮影] メニューで [オートフォーカスモード] と [AFS/AFF/AFC] を設定してください。
(P.57、58)

3 シャッター ボタンを半押しする

- ・電子音がピピッピと鳴り、オートフォーカスが働きます。ピントが合わないときは、ピピピピッピと鳴ります。

撮
る

近づいて撮る（マクロ撮影）

撮影モード：

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

1 ボタン（◀）を押す

2 ◀▶でモードを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

(AFマクロ)	ズームをもっとも広角（W端）にすると、レンズから3cmまで接近して撮影できます。
* (ズームマクロ)	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W端の距離（3cm）のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影します。 <ul style="list-style-type: none">通常撮影時よりも画質が劣化します。ズーム領域表示は青色（デジタルズーム領域）になります。

* 撮影モードや設定によっては選べません。

手動でピントを合わせる

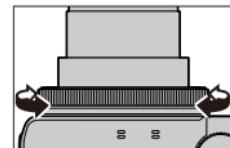
撮影モード：

ピントを固定して撮影したいときや、オートフォーカスでピントが合いにくい環境では、マニュアルフォーカスが便利です。

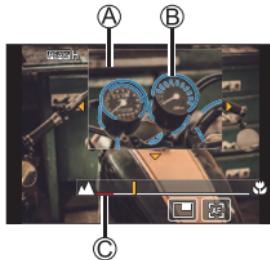
1 ボタン（◀）を押す

2 ◀▶で [MF] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 コントロールリングを回してピントを調整する



- [MFアシスト] (P.55) を [ON] に設定時は、MFアシスト（拡大画面）が表示されます。画面をドラッグ (P.22) すると、拡大表示する位置を移動できます。
- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーリング）
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。（MFガイド）



- Ⓐ：MFアシスト
(拡大画面)
Ⓑ：ピーキング
Ⓒ：MFガイド

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動
—	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
⟳ ⟲	—	画面を拡大 / 縮小
—	□	拡大表示の切り換え (画面の一部 / 画面全体)
[DISP.]	[リセット]	拡大表示する部分を中央に戻す

4 シャッター ボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。

ピントや露出を固定する (AF/AE ロック)

撮影モード：

準備：ファンクションボタンに [AF/AE LOCK] を設定する。(P.24)

1 被写体にカメラを向ける

2 ファンクションボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

- ボタンを離すと、ロックは解除されます。

3 ファンクションボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッター ボタンを全押しする

[AF/AE LOCK] の機能を設定する

[MENU] ボタン → [カスタム] → [AF/AE ロック切換]

[AE LOCK]	露出だけを固定します。(被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られないとき)
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。(被写体が AF リアから外れた構図で撮りたいとき)
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。
[AF-ON]	オートフォーカスが働きます。

露出を補正して撮る

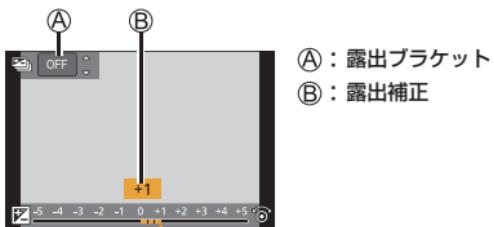
撮影モード： **IA** **FA** **P** **A** **S** **M** **SM** **SCN** **6**

逆光時や、暗すぎる／明るすぎる場合に露出を補正します。

1 [+] ボタン (▲) を押す

2 コントロールダイヤルを回して露出を補正する

- ▲▼を押すと、露出ブラケットの設定ができます。(P.44)



3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

ホワイトバランスを調整する

撮影モード： **IA** **FA** **P** **A** **S** **M** **SM** **SCN** **6**

色合いが不自然なとき、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

[MENU] ボタン → [撮影] → [ホワイトバランス]

1 コントロールダイヤルを回してホワイトバランスを選び、[MENU/SET] ボタンを押して決定する

[AWB]	環境光に応じて、自動で色合いを調整します。
[]	晴天下に適した色合いに調整します。
[]	曇天下に適した色合いに調整します。
[]	日陰に適した色合いに調整します。
[]	白熱灯の照明下に適した色合いに調整します。
[] *	フラッシュ撮影時に適した色合いに調整します。
[]	手動で設定した設定値を使用します。 ① ▲を押す ② 画面中央の枠内に紙など白いものを写し、シャッターボタンを押す
[]	色温度でホワイトバランスを設定できます。 ① ▲を押す ② ▲▼で色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す • [2500K] ~ [10000K] まで設定できます。

* 動画撮影中、4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は [AWB] の動作になります。

4K フォトで撮る

撮影モード : **[IA]** **[AP]** **[P]** **[A]** **[S]** **[M]** **[SCN]** **[6]**

約 800 万画素の写真を 30 コマ / 秒で連写撮影します。撮影後、連写ファイルから一瞬を選び出し、保存することができます。

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P.17)

1 [4K] ボタンを押す

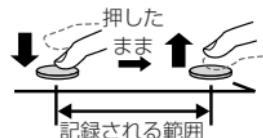
2 ◀▶ で撮影方法を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

[4K] 4K 連写

動きの速い被写体のベストな一瞬をとらえたいとき

シャッター ボタンを押している間、連写撮影します。

- シャッター ボタン全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。



[4K] 4K 連写 (S/S)

S/S とは「Start/Stop」の略を表します。

いつ起こるか分からぬシャッターチャンスをとらえたいとき

シャッター ボタンを押すと連写撮影を開始します。もう一度押すと、連写撮影を終了します。



[4K] **[PRE]** 4K ブリ連写

シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき

シャッター ボタンを押した瞬間の前後約 1 秒を連写撮影します。



3 4K フォトで撮影する

- 連写した画像は、1 つの 4K 連写ファイルとして MP4 形式で保存されます。
- オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。続けて撮影する場合は、シャッター ボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。
- 4K 連写ファイルから複数のコマを比較し、明るい部分を重ね合わせて、一枚の写真に合成することができます。(比較明合成 (P.62))

撮
る

■4K フォトを解除する

手順 2 で **[4K]** **[OFF]** を選ぶ。

- 周囲の温度が高かったり、連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、[△] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- [] (4K プリ連写) に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。(本機の保護のため、[] (4K 連写) に切り換わる場合があります)

撮影するときだけ [] (4K プリ連写) に設定してください。
- 連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)

SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても 1 つのファイルとして記録できます。
- 撮影時、画角が狭くなります。

4K 連写ファイルから写真を保存する

- 写真を選んで保存 → 以下の操作をしてください。
- 写真を一括で保存 → 39 ページへ

- 1 再生画面で [] が付いた画像を選び、▲を押す



- [] (4K プリ連写) で撮影した場合は、手順 3 へ進んでください。

- 2 スライドバーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ



- [] をタッチすると、4K 連写再生画面でシーンを選ぶことができます。(P.39)

- 3 ドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

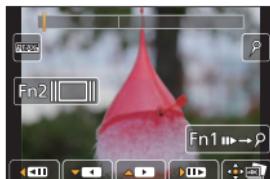


- [①] / [②] をタッチすると、前または後のコマ (45 枚) を表示することができます。

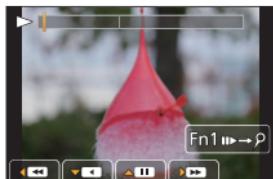
4 [◀▶REC] をタッチし、写真を保存する

- 選んだ写真は、4K 連写ファイルとは別に JPEG 形式で新規保存されます。

■4K 連写再生画面



一時停止中



連続再生中

操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶ / □	連続再生 / 一時停止（連続再生中）
▼	◀ / □	連続戻し再生 / 一時停止（連続戻し再生中）
◎	▶	早送り再生 / コマ送り（一時停止中）
	◀	早戻し再生 / コマ戻し（一時停止中）
[Fn2]	□	スライドフォトセレクト画面を 表示（一時停止中）
[MENU/SET]	REC	写真の保存（一時停止中）

写真を一括で保存する

4K 連写ファイルから、5 秒分の写真を一括保存することができます。

- オートレビューを設定している場合、4K フォト撮影後にスライドフォトセレクト画面が自動で表示されます。シャッターボタンを半押しし、撮影画面を表示してから、以下の操作を行ってください。

[MENU ボタン] → ▶ [再生] → [4K フォト一括保存]

1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 連写時間が 5 秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

2 一括で写真として保存する最初のコマを選ぶ

- 選択方法は、4K 連写ファイルから写真として保存するコマを選び操作と同じです。（P.38）
- 写真は JPEG 形式で、ひとつの連写グループとして保存されます。

撮影後にピントを操作する (フォーカスセレクト / フォーカス合成)

撮影モード: **[IA]** **[FA]** **[P]** **[A]** **[S]** **[M]** **[SCN]** **[6]**

4K 連写でピント位置を変化させながら撮影し、撮影後にピント位置を選ぶことができます。

動きのない被写体に適した機能です。

複数のピント位置を選び、一枚の写真に合成することもできます。(フォーカス合成)

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P.17)
- フォーカス合成を行う場合は、三脚の使用をお勧めします。

1 [■] ボタンを押す

2 ◀▶で [ON] を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

3 構図を決めて、 シャッターボタン を半押しする



- オートフォーカスが動き、画面内のピント位置を検出します。
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示 (Ⓐ) が点滅し、撮影できません。

シャッターボタン半押し後から撮影終了までは
• 被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影を 開始する



- ピント位置を自動で変化させながら撮影します。撮影進捗バー (B) が消えると、撮影が自動で終了します。
- 1つのファイルとして MP4 形式で保存されます。
- オートレビューを設定している場合、ピントを合わせる位置を選ぶ画面が自動で表示されます。(P.41)

■ フォーカスセレクトを解除する

手順 2 で [OFF] を選ぶ。

- 周囲の温度が高かったり、連続でフォーカスセレクト撮影を行ったとき、[Ⓐ] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 撮影時、画角が狭くなります。

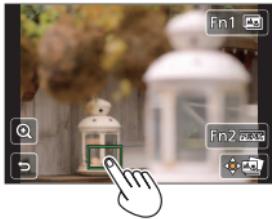
ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する（フォーカスセレクト）

- 1 再生画面で  が付いた画像を選び、▲を押す

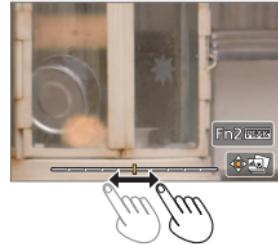


- 2 ピントを合わせる位置をタッチする

- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合、赤い枠が表示され、写真を保存できません。
- 画面の端は選べません。



• 拡大表示中は、スライドバーをドラッグし、ピントを微調整することができます。
(◀▶でも同じ操作ができます。)



- 3  をタッチし、写真を保存する

- 選んだ写真は、別ファイルとして JPEG 形式で新規保存されます。

操作	タッチ操作	操作内容
 	   	ピント位置の選択 <ul style="list-style-type: none"> 拡大表示中は選択できません。
		表示の拡大 / 表示の縮小（拡大表示中）
		フォーカス合成操作への切り替え（P.42）
		ピントが合った部分に色をつけて表示（ピーキング） <ul style="list-style-type: none"> 【PEAK OFF】 → 【PEAK L】（低） → 【PEAK H】（高）の順に切り替わります。
		写真の保存

撮影後にピントを操作する (フォーカスセレクト / フォーカス合成)

続き

ピントが合う範囲を選び、1枚の写真に合成する (フォーカス合成)



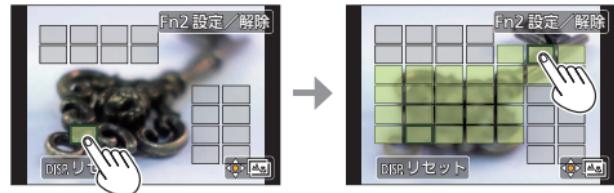
- 1 41ページの手順2で、画面の [■] をタッチする
- 2 合成方法をタッチする

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。 <ul style="list-style-type: none">近距離側の写真を優先して選びます。合成が実行され写真が保存されます。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を1枚の写真に合成します。

(【指定範囲合成】選択時)

- 3 ピントを合わせる位置をタッチする

- 2点以上の位置を選んでください。
- 選択した2点の間にピントが合っている位置があれば、その位置も選択されます。
- 選択できない位置や、選択すると不自然な写真になる可能性がある位置はグレーで表示されます。
- もう一度、タッチすると選択が解除されます。



操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	位置の選択
[Fn2]	[設定/解除]	位置の設定 / 解除
[DISP.]	[全範囲]	すべての位置を選択 (位置の選択前)
	[リセット]	すべての選択を解除 (位置の選択後)
[MENU/SET]	[]	写真の合成・保存

- 4 [] をタッチし、写真を合成し保存する
 - 写真是 JPEG 形式で保存され、もっとも近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。
- 次の場合は不自然な写真に合成されることがあります。
 - 被写体が動いた場合
 - 被写体までの距離の差が大きい場合
 - ボケ具合が大きい場合 (絞り値を大きくして撮影すると不自然さが軽減することがあります)
- 手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角がわずかに狭くなります。
- フォーカス合成できるのは本機でフォーカスセレクト撮影した画像のみです。

ドライブモードを選ぶ (連写 / セルフタイマー)

撮影モード:

シャッター ボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

- 1 [] ボタン (▼) を押す
- 2 でドライブモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

単写	シャッター ボタンを押すと 1 枚だけ撮影します。
連写	シャッター ボタンを押している間、連続して撮影します。
4K フォト (P.37)	シャッター ボタンを押すと 4K フォトで撮影します。
フォーカスセレクト (P.40)	シャッター ボタンを押すとフォーカスセレクト撮影します。
セルフタイマー	シャッター ボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

■ ドライブモードを解除する

手順 2 で [] (単写) または を選ぶ。

連写

左の手順 2 で連写を選んで ▲ を押したあと、

で連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

		[H] (高速)	[M] (中速)	[L] (低速)
連写速度	AFS	10 コマ / 秒	5 コマ / 秒	2 コマ / 秒
	AFF/AFC	5 コマ / 秒	5 コマ / 秒	2 コマ / 秒
連写中の ライブビュー		なし	あり	あり

● フラッシュ使用時は無効になります。

セルフタイマー

左の手順 2 でセルフタイマーを選んで ▲ を押したあと、

で動作設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

10	10 秒後に撮影します。
3x2	10 秒後に約 2 秒間隔で 3 枚撮影します。
2	2 秒後に撮影します。 • 三脚使用時シャッター ボタンを押したときのカメラブレを防ぐのにも効果的です。

設定を自動的に変えながら撮る（ブラケット撮影）

撮影モード：

シャッター ボタンを押すと、自動的に設定を変えて複数枚の画像を撮影できます。

1 メニューを設定する（P.23）

MENU ボタン → [撮影] → [ブラケット] → [ブラケット種類]

(露出ブラケット)	シャッター ボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。
(ホワイトバランス ブラケット)	1回シャッター ボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動的に3枚撮影します。

2 ▼で [詳細設定] を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- ・ 設定時は、コントロール ダイヤルを回して補正幅を設定してください。
- ・ シャッター ボタンを半押ししてメニューを終了してください。

3 ピントを合わせて撮影する

■ ブラケットを解除する

手順 1 で [OFF] を選ぶ。

露出ブラケット

詳細設定（左の手順 2）

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 [3・1/3]（3枚撮影・1/3 EV 幅）～ [7・1]（7枚撮影・1 EV 幅）
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法*	[]：シャッター ボタンを押すごとに1枚撮影。 []：1回シャッター ボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

* 連写設定時は設定できません。シャッター ボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。
- フラッシュ使用時は無効になります。

フラッシュを使って撮る

撮影モード：

1 [Flash] ボタン (▶) を押す

A : オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
A ^① : 赤目軽減 オート	撮影状況に応じて、赤目を抑えるように自動的にフラッシュを発光します。 <ul style="list-style-type: none">暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。
: 強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。
: 赤目軽減 強制発光	<ul style="list-style-type: none">逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
S : スロー シンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。
S ^① : 赤目軽減 スロー シンクロ	<ul style="list-style-type: none">夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。
: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。
	<ul style="list-style-type: none">フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。

* インテリジェントオート ([IA] または [IA*]) モードでのみ設定できます。被写体や撮影状況に応じて、アイコンが切り換わります。

フラッシュは2回発光します。特に [^①]、[^①] に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

● 次の場合、[] (発光禁止) に固定されます。

- 動画撮影時
- 4K フォト撮影時
- フォーカスセレクト撮影時
- 電子シャッター使用時
- [HDR] を [ON] に設定時
- [サイレントモード] を [ON] に設定時
- [フィルター設定] の [フィルター効果] で画像効果設定時

● フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。

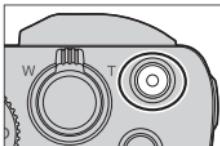
撮
る

動画・4K動画を撮る

撮影モード：**IA** **FA** **P** **A** **S** **M** **SM** **SCN** **6**

AVCHD 規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4 で記録される動画、および 4K 動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する



- 各動画モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- シャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真を撮ることができます。(クリエイティブ動画モードを除く)



2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

■ 4K 動画を撮影する場合は

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P.17)
- 4K 動画撮影時は、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります、異常ではありません。

- 静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスなどの動作音が録音されることがあります。これは異常ではありません。

動画撮影中のフォーカス動作は [AF 連続動作] (P.54) で [OFF] に設定することができます。

- 周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行ったとき、[△] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

■記録方式と画質を選ぶ

MENU ボタン→  **【動画】** → **【記録方式】**

設定：[AVCHD] / [MP4]

MENU ボタン→  **【動画】** → **【画質設定】**

[AVCHD]：[FHD/28M/60p]^{※1} / [FHD/17M/60i] /
[FHD/24M/30p]

- ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれで保存されます。
[FHD/28M/60p]、[FHD/17M/60i]：連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。

[MP4]：[4K/100M/30p]^{※2} / [FHD/28M/60p] /
[FHD/20M/30p] / [HD/10M/30p]

- [FHD]、[HD]：ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれで保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
[FHD/28M/60p]：連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。
- [4K]：連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。
SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれで保存・再生されます。
(撮影は一時中断することなく続けることができます)
SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても 1 つのファイルとして記録できます。

^{※1} AVCHD Progressive

^{※2} 4K 動画

[M] クリエイティブ動画モード

絞りやシャッタースピード、ISO 感度を決めて動画を撮影します。

1 モードダイヤルを [ M] に合わせる

2 メニューを設定する (P.23)

MENU ボタン→  **【動画】** → **【動画露出設定】**

設定：[P] / [A] / [S] / [M]

- モードダイヤルを [**P**] / [**A**] / [**S**] / [**M**] のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を変更できます。

3 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

- 写真撮影はできません。

4 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を終了する

撮
る

動画・4K動画を撮る

続き

【 M】動画撮影中の操作音を抑えて撮る

タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

1 モードダイヤルを【 M】に合わせる

2 メニューを設定する (P.23)

MENU ボタン→  [動画] → [タッチ静音操作]
→ [ON]

3 撮影を開始する

4  をタッチする

5 アイコンをタッチする

-  : ズーム
-  : 絞り値
-  : シャッタースピード

-  : 露出補正
-  : ISO 感度

6 スライドバーをドラッグ

して設定する

- タッチする位置により、操作のスピードは変わります。



[] / [] ゆっくり設定を変える

[] / [] 速く設定を変える

48 7 撮影を終了する

【 M】4Kライブクロップで動画を撮る

4K画角からフルハイビジョン動画を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームイン、ズームアウトの動作を加えた動画を記録できます。

- 撮影時は、カメラをしっかり固定してください。
- [MP4] の [FHD/20M/30p] で撮影されます。



パン



ズームイン

- ズームイン / ズームアウトの動作を加える場合は、切り出しの開始と終了の画角を異なる設定にしてください。例えば、ズームイン撮影では開始の画角を大きく、終了の画角を小さく設定します。

1 モードダイヤルを【 M】に合わせる

2 メニューを設定する (P.23)

MENU ボタン→  [動画] → [4K ライブクロップ]

設定 : [40 秒] / [20 秒] / [OFF]

3 切り出し開始枠を設定し、 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 同様に切り出し終了枠も設定してください。
- 初回設定時、1920 × 1080 の大きさの開始枠が表示されます。(切り出し開始枠、終了枠の設定後は、直前に設定した開始枠と終了枠が表示されます。)
- 位置や大きさは、電源を切っても記憶されます。



操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	枠の移動
◎	ピンチアウト / ピンチイン	枠の拡大 / 縮小 (1920 × 1080 ~ 3840 × 2160)
[DISP.]	[リセット]	枠の位置を中央に、初回設定時の大きさに戻す
[MENU/SET]	[決定]	枠の位置と大きさ決定

- オートフォーカスマードは、[] (顔認識)に切り換わります。(ピントを合わせる目は表示されません。)

4 動画ボタン (またはシャッターボタン) を押して撮影を開始する

- 動画ボタン (またはシャッターボタン) は押したあと、すぐに離してください。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画ボタン (またはシャッターボタン) を押してください。



■切り出し枠の位置や大きさを変更する
撮影画面で [Fn1] ボタンを押し、手順 3 を行う。

撮
る

■4K ライブクロップ撮影を解除するとき
手順 2 で [OFF] を選ぶ。

- 画角は狭くなります。
- ハイスピード動画設定時、4K ライブクロップ撮影はできません。
- ピント合わせは、切り出し開始枠内で固定されます。
- [AF 連続動作] は [OFF] になります。
- [測光モード] は [◎] (マルチ測光) になります。

画像を見る

写真を見る

- 1 [▶] (再生) ボタンを押す
- 2 ◀▶ で表示する画像を選ぶ

- 電源を切っているときに [▶] (再生) ボタンを長押しすると、再生状態で電源を入れることができます。
- [レンズ収納] (P.55) を [ON] に設定時、再生画面に切り換えると、約 15 秒後にレンズ鏡筒が収納されます。



Web サービスへの送信について

画像を 1 枚ずつ表示中、▼ を押すと手軽に Web サービスへ送ることができます。

■再生を終了する

再度、[▶] (再生) ボタンを押すか、動画ボタンを押してください。またはシャッター ボタンを半押ししてください。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD または MP4 です。

- 1 [●] が付いた画像を選び、▲ を押して再生する



■動画再生中の操作

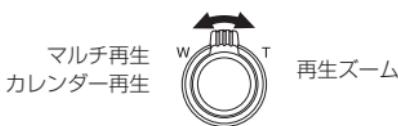
操作	タッチ操作	操作内容
▲	[▶/■]	再生 / 一時停止
◀	[◀]	早戻し※1
▶	[▶/■]	(一時停止中) コマ戻し※2
▼	[▶]	早送り※1
▼	[■]	(一時停止中) コマ送り
▼	[■]	停止
⟳	[-]/[+]	音量を下げる / 音量を上げる

※1 もう一度 ◀▶ を押すと、早戻し / 早送り速度が速くなります。

※2 [AVCHD] で撮影した動画は、約 0.5 秒ごとのコマ戻しになります。

- ・一時停止中に [MENU/SET] ボタンを押すと、動画から写真を作成できます。

再生方法を切り換える



マルチ再生 / カレンダー再生

1 ズームレバーを W 側に回す

- 1 画面 → 12 画面 → 30 画面 → カレンダー画面
- 逆側 (T 側) に回すと、1 つ前に戻ります。



マルチ再生



カレンダー再生

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
 - [] : 1 画面
 - [] : 12 画面
 - [] : 30 画面
 - [] : カレンダー再生
 - [!] と表示される画像は再生できません。

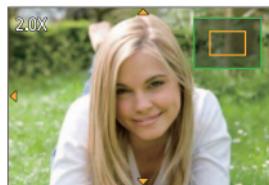
■ 12 画面 / 30 画面から 1 画面表示に戻す

▲▼◀▶ で画像を選んで、[MENU/SET] ボタンを押す。

再生ズーム

1 ズームレバーを T 側に回す

- 1 倍 → 2 倍 → 4 倍 → 8 倍 → 16 倍
- 逆側 (W 側) に回すと、1 つ前に戻ります。



- ▲▼◀▶ を押す、または画面をドラッグ (P.22) すると、拡大部分を移動することができます。
- 再生ズーム中にコントロールダイヤルを回すと、ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送ることができます。

見る

写真や動画を消す（消去）

一度消した画像は元に戻せません。

1 枚消去

- 1 消去する画像を表示中に [廻] ボタンを押す
- 2 ▲で [1枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数消去（100枚^{*}まで）/全画像消去

* グループ画像は1枚として扱います。（選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます）

- 1 画像を表示中に [廻] ボタンを押す

- 2 ▲▼で [複数消去] / [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - ・ [全画像消去] のとき [お気に入り]（P.56）画像があると、[お気に入り以外全消去] が選べます。

（[複数消去] 選択時）

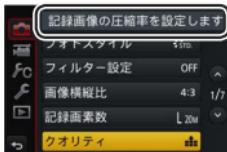
- 3 ▲▼◀▶で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（繰り返す）
 - ・ 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ◀で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

メニュー一覧



メニューの説明を表示する

[セットアップ] メニューの [メニューインフォメーション] を [ON] に設定時、メニューや設定項目の説明がメニュー画面に表示されます。



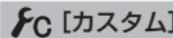
[撮影]

P.53



[動画]

P.54



[カスタム]

P.55



[セットアップ]

P.55



[再生]

P.56

 [撮影]

フォトスタイル ^{※1}	撮りたいイメージに合わせて、効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。
フィルター設定 ^{※1}	画像効果（フィルター）に関する設定をします。
画像横縦比	写真の横縦比を設定します。（P.56）
記録画素数	記録画素数を設定します。（P.56）
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。（P.57）
ISO 感度 ^{※1}	ISO 感度（光に対する感度）を設定できます。（P.57）
ホワイトバランス	色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。（P.36）
オートフォーカスモード ^{※1}	被写体の位置や数に応じてピントの合わせ方を選択できます。（P.57）
AFS/AFF/AFC ^{※1}	シャッターボタン半押し時のピント合わせの動作を設定できます。（P.58）
測光モード ^{※1}	明るさを測る測光方式を切り換えることができます。（P.58）
連写速度	連写時の連写速度を設定します。（P.43）
4K フォト	4K フォトの撮影のしかたを設定します。（P.37）
ブラケット	ブラケット撮影の設定をします。（P.44）
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。（P.43）
iD レンジコントロール ^{※1}	背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。
超解像 ^{※1}	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。

i手持ち夜景	夜景を高速連写で撮影して1枚の画像に合成します。
iHDR	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
HDR	露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
インターバル撮影	撮影開始時刻や撮影間隔などをあらかじめ設定しておくと、自動的に写真を撮影します。動植物の経過観察や風景などの定点撮影に便利です。
コマ撮りアニメ	写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。
パノラマ設定	パノラマ撮影の撮影方向と画像サイズを設定します。（P.29、32）
シャッター方式	メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。（P.58）
フラッシュ光量調整	フラッシュの発光量を調整します。
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、写真を補正します。
ISO 感度上限設定	ISO 感度が [AUTO] または [ISO] のときに、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。
ISO 感度ステップ	ISO 感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。
拡張 ISO 感度	設定できる ISO 感度の数値を拡張することができます。
回折補正 ^{※1}	絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

メニュー一覧

続き

iA ズーム ^{※1}	画像の劣化を抑えつつ、ズーム倍率を上げることができます。(P.21)
デジタルズーム ^{※1}	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。(P.21)
手ブレ補正 ^{※1}	撮影時の手ブレを感じて、カメラが自動的に補正します。(P.58)
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢／年齢を画像に記録することができます。

■ [動画]^{※2}

^{※2} [撮影] メニューと共通のメニュー項目は、[撮影] メニューをご覧ください。(P.53～54)

4K ライブクロップ	カメラを左右にふらずに被写体をパン撮影することや、ズーム操作することなく、引きや寄りの動画撮影ができます。(P.48)
スナップムービー	撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。
記録方式	記録する動画のファイル形式 (AVCHD、MP4) を設定します。(P.47)
画質設定	記録する動画の画質 (サイズ、記録フレームレートなど) を設定します。(P.47)
動画露出設定	クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。(P.47)
ハイスピード動画	被写体の動きをスローモーションで再生できる動画を撮影します。
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。
動画傾き補正	カメラの傾きを自動的に検出して、撮影される動画が傾かないように水平に補正します。
フリッカー軽減	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。
タッチ静音操作	タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。(P.48)
風音キャンセラー	音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。
ズームマイク	ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに記録します。

^{※1} [撮影] メニューと [動画] メニューで共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

■ FC [カスタム]

カスタムセット登録 (P.31)
サイレントモード (P.59)
AF/AE ロック切換
AF/AE ロック維持
シャッター半押し AF
シャッター半押しレリーズ
クイック AF
アイセンサー AF
ピンポイント AF 時間
ピンポイント AF 表示
AF 補助光
ダイレクトフォーカス移動
フォーカス / レリーズ優先
AF+MF
MF アシスト
MF アシスト表示
MF ガイド
ピーキング
ヒストグラム表示
ガイドライン表示
センターマーカー表示

ハイライト表示
ゼブラパターン表示
モノクロライブビュー
露出メーター
ダイヤル操作ガイド
LVF 表示スタイル
モニター表示スタイル
記録枠表示
残枚数 / 残時間切換
オートレビュー
ファンクション Fn ボタン設定 (P.24)
ズームレバー
レンズ位置メモリー
レンズ収納
リング / ダイヤル設定
アイセンサー
自分撮り
タッチ設定
タッチ再生送り速度
メニューガイド

■ FC [セットアップ]

取扱説明書の Web サイト (P.82)
時計設定 (P.18)
ワールドタイム
トラベル日付
Wi-Fi
電子音
ライブビューモード
モニター調整 / LVF 調整
モニター輝度
エコモード
USB モード
テレビ接続設定
メニュー位置メモリー
メニュー背景色
メニューインフォメーション
言語設定
バージョン表示
露出補正リセット
セルフタイマー自動解除
番号リセット
設定リセット
Wi-Fi 設定リセット
水準器調整
デモモード
フォーマット (P.17)

■▶ [再生]

スライドショー
再生モード
位置情報記録
ビューティレタッチ* (P.59)
RAW 現像* (P.60)
4K フォト一括保存* (P.39)
比較明合成* (P.62)
クリアレタッチ*
タイトル入力
文字焼き込み*
動画分割 (P.63)

インターバル動画作成*
コマ撮りアニメ作成*
リサイズ (縮小)*
トリミング (切抜き)*
画像回転
縦位置自動回転
お気に入り
プリント設定
プロテクト
認証情報編集
画像表示順

* 編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量を確認してから編集してください。

[画像横縦比]

撮影モード：

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

[MENU ボタン] → [撮影] → [画像横縦比]

設定：[4:3] / [3:2] / [16:9] / [1:1]

[記録画素数]

撮影モード：

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

[MENU ボタン] → [撮影] → [記録画素数]

■記録可能枚数の目安

画像横縦比 [4:3]、クオリティ [■■■] の場合

記録画素数	L (20M)	EX M (10M)	EX S (5M)
16 GB	1450	2630	4600
32 GB	2910	5280	9220
64 GB	5810	10510	17640
128 GB	11510	20810	34940

【クオリティ】

撮影モード：

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→ [撮影] → [クオリティ]

	JPEG	画質を優先して、JPEG形式で記録します。
		標準画質で、JPEG形式で記録します。
	RAW + JPEG	RAW画像とJPEG画像（ または ）を同時に記録できます。 ^{※1}
	RAW	RAW形式で記録します。

^{※1} 本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。

- RAW画像は常に画像横縦比 [4:3] (5184 × 3888) で記録されます。
- RAW画像の現像（本機で：P.60/パソコンで：P.70）

【ISO 感度】

撮影モード：

暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをお勧めします。

MENU ボタン→ [撮影] / [動画] → [ISO 感度]

AUTO	被写体の明るさに応じて、自動で感度を調整します。
(インテリジェントISO)	被写体の動きと明るさに応じて、自動で感度とシャッタースピードを調整します。
80～3200、H.6400 ^{※2}	それぞれのISO感度に固定します。

^{※2} [拡張ISO感度] (P.53) が [ON] の場合のみ

【オートフォーカスモード】

撮影モード：

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

MENU ボタン→ [撮影] / [動画]

→ [オートフォーカスモード]

(顔・瞳認識)	人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。 ^{※3}
(追尾)	指定した被写体にピントや露出 ^{※3} を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。
(49点)	撮影画面の広範囲（最大49点）の中の被写体にピントを合わせます。
(カスタムマルチなど)	被写体に合わせて、49点のAFエリアから選ぶことで自由に形状を設定できます。
(1点)	画面中央のAFエリアにピントが合います。
(ピンポイント)	[] (1点)より小さな点で繊細なピント合わせができます。

^{※3} [測光モード] (P.58) を [] (マルチ測光) に設定時

[AFS/AFF/AFC]

撮影モード：

シャッターボタン半押し時のピント合わせの動作を設定できます。

MENU ボタン→ [撮影] / [動画]
→ [AFS/AFF/AFC]

AFS	静止している被写体（風景、記念撮影など）
AFF	動きが予測できない被写体（子ども、ペットなど）
AFC	動いている被写体（スポーツ、鉄道など） • 動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。（動体予測）

[測光モード]

撮影モード：

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン→ [撮影] / [動画] → [測光モード]

	明るさの測定位置：画面全体 通常使用（バランスがとれた写真になります）
	明るさの測定位置：画面中央とその周囲 被写体が画面中央にあるとき
	明るさの測定位置：中央の狭い範囲 被写体と背景の明るさが極端に異なるとき（舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など）

[シャッター方式]

撮影モード：

写真撮影時のシャッター方式を選びます。

MENU ボタン→ [撮影] → [シャッター方式]

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。
メカシャッター	メカシャッター方式のみで撮影します。 シャッタースピード：4秒 ^{※1} ～1/2000秒
電子シャッター ^{※2}	電子シャッター方式のみで撮影します。 シャッタースピード：1秒 ^{※1} ～1/16000秒

^{※1} ISO 感度の設定により変わります。（P.57）

^{※2} フラッシュは （発光禁止）に固定されます。

[手ブレ補正]

撮影モード：

手ブレを自動で感知して補正します。

MENU ボタン→ [撮影] / [動画] → [手ブレ補正]

	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を動かしながら撮影する方法）するときに適しています。
OFF	手ブレ補正是働きません。

[サイレントモード]

撮影モード : **[A]** **[A]** **[P]** **[A]** **[S]** **[M]** **[M]** **[SCN]** **[6]**

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使うと便利です。

[MENU] ボタン→ *fc* [カスタム] → [サイレントモード]

設定 : [ON] / [OFF]

- 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。

次の機能は固定されます。

- [シャッター方式] : [電子シャッター]
- フラッシュ : [④] (発光禁止)
- [AF 補助光] : [OFF]
- [電子音量] : [④] (OFF)
- [シャッター音音量] : [④] (OFF)

- [ON] に設定時も、次の機能は点灯 / 点滅します。

- セルフタイマーランプ
- Wi-Fi 接続ランプ

- レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。

● 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

[ビューティレタッチ]

撮影した写真の顔にエステやメイクアップ効果をかけることができます。

[MENU] ボタン→ ▶ [再生] → [ビューティレタッチ]

1 ◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀▶ で編集したい人の顔を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 矢印が付いている人物のみ選択できます。
- 検出された顔が一つだけの場合は、[MENU/SET] ボタンを押してください。



3 レタッチの種類 (Ⓐ)、効果 (Ⓑ)、効果の詳細設定 (Ⓒ) を順にタッチして設定する



	 (肌透明感)  (テカリ除去)  (ホワイトニング)  (シェイプアップ)  (デカ目)
 [エステレタッチ]	—
 [ベースメイク]	—
 [メイクアップレタッチ]	 (リップカラー)  (チークカラー)  (アイシャドウ)
 [スマイル]	—

4 [OK] をタッチする

- 確認画面で「[はい]」を選ぶと、適用前と適用後の画面が表示されます。

5 [決定] をタッチする

- 一度に二人以上の人物は編集できません。
- ビューティレタッチに適した写真を撮るには：
 - 顔を正面からアップで撮影する
 - 極端に暗い場所での撮影を避ける
 - レタッチする部分をはっきりと撮影する

[RAW 現像]

RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像できます。
作成した写真は JPEG 形式で保存されます。

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [RAW 現像]

1 ◀▶ で RAW 画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼ で項目を選んで
[MENU/SET] ボタンを押し、設定する



ホワイトバランス

露出補正

フォトスタイル

iD レンジコントロール

コントラスト

ハイライト

シャドウ

彩度 / 色調

フィルター効果

ノイズリダクション

超解像

シャープネス

設定 (P.61)

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 手順 2 に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順 2 ~ 3 を繰り返してください。

4 ▲▼ で [RAW 現像実行] を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

■各項目の設定方法

項目を選ぶと、設定画面が表示されます。



操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
	[色温度設定]	色温度設定画面を表示 (P.36) ([ホワイトバランス] の 選択時のみ)
	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を表示 ([ホワイトバランス] 選択時のみ)
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る

- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。
- 2回連続で素早くタッチすると拡大表示できます。
(拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります)

比較画面では以下の方法で調整ができます。



現在の設定

操作	タッチ操作	操作内容
	◀▶	ドラッグ
	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る

- 中央の写真をタッチすると拡大表示できます。
 をタッチすると元の表示に戻ります。

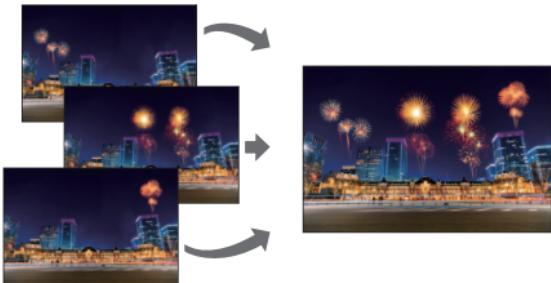
■[設定] 選択時

で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。

調整前に戻す	撮影時の設定に戻すことができます
記録画素数	保存時の JPEG 画像のサイズを選べます

[比較明合成]

4K 連写ファイルから、合成したいコマを複数選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1枚の写真を合成します。



- 比較明合成を行う場合、カメラのブレを抑えるために、三脚を使用し、スマートフォンと接続してリモート撮影することをお勧めします。(P.68)

MENU ボタン → ▶ [再生] → [比較明合成]

- 1 ◀▶で4K連写ファイルを選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- 2 合成方法を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

■[選択合成]：合成したいコマを選ぶ

- ①スライドバーをドラッグするか、▲▼◀▶で合成したいコマを選ぶ



- ②[MENU/SET]ボタンを押す

- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
- ・▲▼で項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、次の操作ができます。
 - [次の画像]：さらに合成したいコマを選びます。
 - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。

- ③手順①～②を繰り返し、合成したいコマを選ぶ(最大40コマ)

- ④▼で[保存]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

■ [範囲合成]：合成する範囲を選ぶ

- ①先頭画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 選択方法は、[選択合成] の手順 ① と同じです。(P.62)
- ②終了画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 確認画面で【はい】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 写真は JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

■ [動画分割]

撮影した動画を 2 つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。

[MENU ボタン→ ▶ [再生] → [動画分割]]

1 ◀▶ で分割する動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 分割したい位置で ▲ を押して一時停止する

- 一時停止中に ◀▶ を押すと、分割位置の細かい調整することができます。



3 ▼ を押す

- 分割した元の動画は残りません。

- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。

Wi-Fi® 機能でできること

スマートフォン / タブレットとつないで使う (P.66)



- スマートフォンで撮影する (P.68)
- カメラの画像を再生する (P.68)
- カメラの画像を保存する (P.69)
- カメラの画像を SNS へ送信する (P.69)
- カメラの画像にスマートフォンから位置情報を追加する (P.69)
- スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する

テレビに写真を映す パソコンに画像を送る
ワイヤレスでプリントする Web サービスを利用する
AV 機器に画像を送る

- このページ以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しない限り、本書では「スマートフォン」と記載します。
- 詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)をお読みください。

Wi-Fi 機能について

■ 本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz 帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

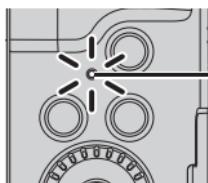
本機は、無線 LAN 機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID^{**}) が表示されることがあります、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

* SSID とは、無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

■ご使用の前に

- ・あらかじめ時計を設定してください。(P.18)
- ・本機で Wi-Fi 機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- ・画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。

■Wi-Fi 接続ランプの表示について



点灯 : Wi-Fi 機能 ON 時、または
Wi-Fi 接続中
点滅 : 画像データ送信時

[Wi-Fi] ボタンについて

本書では [Wi-Fi] を設定したファンクションボタンを [Wi-Fi] ボタンと記載して説明しています。

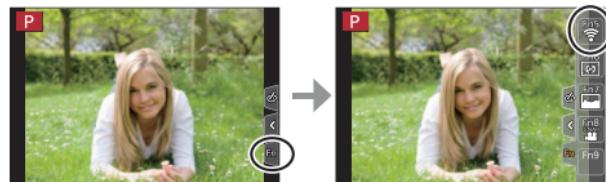
(お買い上げ時、撮影時は [Fn5] に、再生時は [Fn1] に [Wi-Fi] が設定されています)

- ・ファンクションボタンについて詳しくは (P.24)

■[Wi-Fi] ボタンを押す操作 (撮影時)

① [Fn] をタッチする

② [Fn5] をタッチする



Wi-Fi 接続していないときに [Wi-Fi] ボタンを押すと、本機がスマートフォンとの接続待機状態になり、スマートフォンに直接接続することができます。(P.67)

■Wi-Fi 接続後に [Wi-Fi] ボタンを押す

以下の項目を選択できます。

接続を終わる

接続先を変える

画像の送信設定を変える

今の接続先をお気に入りに入れる

ネットワークアドレス表示

- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。

Wi-Fi

スマートフォンとつないで使う

スマートフォン / タブレットアプリ 「Panasonic Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニックが提供するアプリケーションです。

対応 OS Android™ : Android 4.1 以上
 iOS : iOS 8.0 以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android) 「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」
または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」  を選び、
インストールする

- 最新的バージョンをお使いください。
- 対応 OS は 2017 年 5 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。

「Image App」の最新情報については、下記サポートサイトをご覧ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続して「Image App」で操作中は、お使いのスマートフォンによっては、「Image App」の「ヘルプ」の表示ができません。その場合は、いったん本機との Wi-Fi 接続を終了して、3G や LTE 等の携帯電話回線、またはインターネット回線に接続後、「Image App」の「ヘルプ」を表示してください。
- 対応 OS や「Image App」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。

スマートフォンと接続する

パスワードを利用して接続する (カメラ側)

MENU ボタン→  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う]

スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報 (SSID) が表示されます。



(スマートフォン側)

- 1 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- 2 Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
- 3 「Image App」を起動する
 - 本機に接続確認画面が表示されたら、[はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。(初回接続時のみ)



お買い上げ時は [Wi-Fi パスワード] が [OFF] に設定されています。

Wi-Fi 接続を開始する際、本機の接続確認画面に表示されている機器が実際に接続したい機器か必ずご確認ください。別の機器が表示されている場合でも、「はい」を選ぶとそのまま接続されます。

お近くに別の Wi-Fi 接続機器があるような場合などは、[Wi-Fi パスワード] を [ON] に設定することをお勧めします。

パスワードを利用して接続する

準備：(カメラ側) [Wi-Fi パスワード] を [ON] にする

MENU ボタン→  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 設定] → [Wi-Fi パスワード] → [ON]

(カメラ側)

MENU ボタン→  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID とパスワード) が表示されます。



(スマートフォン側)

- 1 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- 2 Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
- 3 カメラに表示されたパスワードを入力する (初回接続時のみ)
- 4 「Image App」を起動する
 - QR コードを使って接続することもできます。詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式) をお読みください。



Wi-Fi

スマートフォンとつないで使う

続き

接続を終了する

1 カメラを撮影モードにする

- シャッターボタン半押しで撮影モードに戻ります。

2 カメラのメニューで Wi-Fi 接続を終了する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい]



3 スマートフォンで「Image App」を終了する

< iOS 端末をお使いの場合 >

「Image App」の画面でホームボタンを押して
アプリを終了する

< Android 端末をお使いの場合 >

「Image App」の画面で戻るボタンを 2 回押して
アプリを終了する

スマートフォンで撮影する（リモート撮影）

1 スマートフォンと接続する (P.67)

2 「Image App」の [] を選ぶ



3 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。

■ジャンプ中の写真を撮影する（ジャンプスナップ）

スマートフォンを持ってジャンプすると、スマートフォンがジャンプの頂点を検知し、カメラが自動で撮影します。（試し撮りをすることをお勧めします。）

① [] → [] → 感度を選ぶ

カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する (P.67)

2 「Image App」の [] を選ぶ



- 画面左上のアイコンで、表示する画像の機器を切り替えられます。カメラの画像を表示するには「[LUMIX]」を選んでください。
- 画像をタッチすると、画像が大きく再生されます。

カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する (P.67)

2 「Image App」の【▶】を選ぶ



3 画像を長押ししてドラッグし、スマートフォンに保存する



- RAW形式の写真、AVCHD動画、4K動画、4K連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は保存できません。

カメラの画像をSNSへ送信する

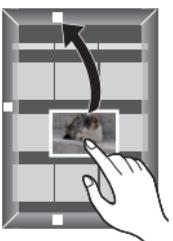
1 スマートフォンと接続する (P.67)

2 「Image App」の【▶】を選ぶ



3 画像を長押ししてドラッグし、SNSなどに送信する

- SNSなどのWebサービスに画像が送信されます。



カメラの画像にスマートフォンから位置情報を追加する

1 スマートフォンと接続する (P.67)

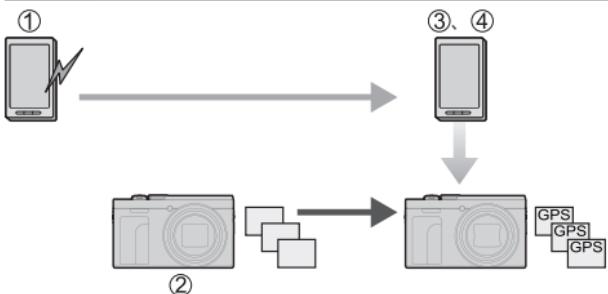
2 「Image App」の【↑】を選ぶ



3 【✖】を選ぶ

4 アイコンを選ぶ

	位置情報の記録を開始/停止します。(①/③) • 記録中にカメラで撮影します。(②) • 位置情報の記録中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。位置情報記録を使用しない場合は、位置情報の記録を停止してください。
	位置情報の送信、書き込みを行います。(④) • 画面のメッセージに従って、操作してください。 • 位置情報が書き込まれた画像には【GPS】が表示されます。



Wi-Fi

ソフトウェアをダウンロードする

パソコンで画像を再生・編集するには、ソフトウェアをダウンロード・インストールしてお使いください。

- ソフトウェアをダウンロードするためには、パソコンをインターネットに接続する必要があります。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。

PHOTOfunSTUDIO 9.9 PE

パソコンに写真や動画を取り込んだり、取り込んだ画像を撮影日や撮影したデジタルカメラの機種名などで分類して整理することができます。また、写真の補正や動画の編集、DVDへの書き込みなどもできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。(2022年5月まで有効)

http://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs99pe.html

動作環境

対応 OS	Windows® 10 (32 bit/64 bit) Windows® 8.1 (32 bit/64 bit) Windows® 8 (32 bit/64 bit) Windows® 7 (32 bit/64 bit) SP1
CPU	Pentium® 4 2.8 GHz 以上
ディスプレイ	1024 × 768 以上 (1920 × 1080 以上を推奨)
搭載メモリ	1 GB 以上 (32 bit) / 2 GB 以上 (64 bit)
ハードディスク	インストールに 450 MB 以上の空き容量

- 4K 動画をご利用の場合、Windows 10 / 8.1 / 8 / 7 の 64 bit 版が必要です。
- 「PHOTOfunSTUDIO」は Mac では使えません。
- 4K 動画の再生、編集機能などをご利用の場合の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF) をお読みください。

SILKYPIX Developer Studio SE

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式 (JPEG、TIFF など) で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

対応 OS : Windows® 10 / 8.1 / 8 / 7
Mac OS X v10.6 ~ v10.12

- SILKYPIX Developer Studio の動作環境や使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトボラトリーのサポートサイトをご覧ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版

簡単に動画を編集することができます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<http://loilo.tv/product/20>

対応 OS : Windows®10 / 8.1 / 8 / 7

- LoiLoScope の詳しい動作環境や使い方は、サイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
- 「LoiLoScope」は Mac では使えません。

パソコンに画像を取り込む

準備：パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。(P.70)

1 本機とパソコンの電源を入れ、付属の USB 接続ケーブルでつなぐ

- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。

2 ▼で [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

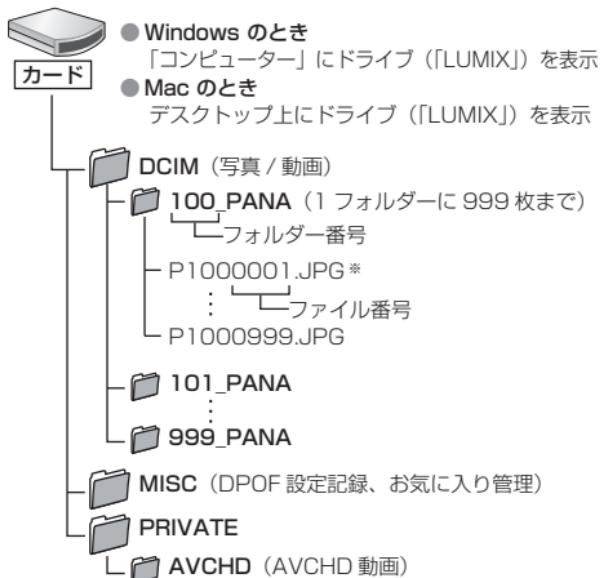
3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windows のエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

- 本機のカードの中（フォルダー構造）は以下のようになります。



* .JPG : 写真

.RW2 : RAW で記録した写真

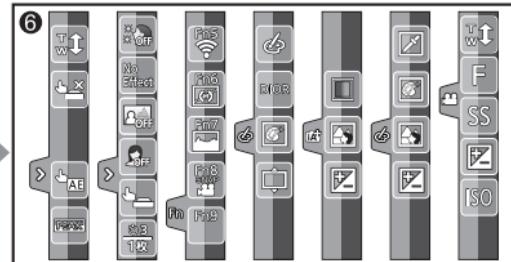
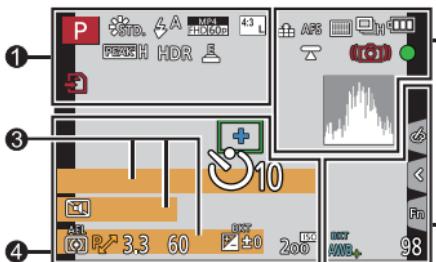
.MP4 : MP4 動画

モニター / ファインダーの表示一覧

モニター / ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- ・画面は【モニター表示スタイル】(P.55) を【】(モニタースタイル) に設定時の例です。
- ・表示されるヒストグラムや倍率、数値などの情報は目安です。
- ・再生時の画面については、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式) をお読みください。

撮影時



1



撮影モード (P.21)



C1

カスタムセット (P.31)



フォトスタイル (P.53)



フラッシュモード (P.45)



記録方式 / 画質設定 (P.47)



スナップムービー (P.54)



画像横縦比 / 記録画素数 (P.56)



画像サイズ (パノラマモード) (P.32)



画像効果 (フィルター) 調整表示



カード (記録時のみ表示)

XXhXXmXXs	記録経過時間 ^{※1} (P.46)
	同時記録表示 (動画撮影中に写真を撮影時)
LVF/ MON AUTO	ファインダー / モニター自動切換 (P.20)
	ピーキング (P.55)
HDR	HDR (P.53) / iHDR (P.53)
	電子シャッター (P.58)
	温度上昇表示 (P.78)

②

	RAW クオリティ (P.57)
240fps 120fps	ハイスピード動画 (P.54)
AFS AFF AFC MF	AFS/AFF/AFC (P.58) /MF (P.34)
	オートフォーカスマード (P.57)
	ピント送り (スナップムービー (P.54) の設定)
	個人認証 (P.54)
AFL	AF ロック (P.35)
	連写 (P.43)
	4K フォト (P.37)
	フォーカスセレクト (P.40)
	セルフタイマー (P.43)

	バッテリー残量表示
	マクロ撮影 (P.34)
	動画傾き補正 (P.54)
	手ブレ補正 (P.58)
	手ブレ警告表示
	記録動作 (赤点滅) (P.46) / フォーカス (緑点灯) (P.20)
	フォーカス (低照度時)
	Wi-Fi 接続状態
	ヒストグラム表示 (P.55)

③

名前 ^{※2}	
トラベル経過日数 ^{※3}	
月齢 / 年齢 ^{※2}	
旅行先 ^{※3}	
現在日時 / 旅行先設定 ^{※3} :	
露出メーター (P.30)	
ズーム表示	

モニター / ファインダーの表示一覧

続き

4

	AF エリア
+	スポット測光ターゲット
+	センターマーカー表示 (P.55)
	セルフタイマー (P.43)
	ズームマイク (P.54)
	サイレントモード (P.59)
AEL	AE ロック (P.35)
	測光モード (P.58)
	プログラムシフト (P.30)
3.3	絞り値 (P.20)
60	シャッタースピード (P.20)
	露出補正 (P.36)
	露出ブラケット (P.44)
	明るさ (露出)
	マニュアル露出アシスト (P.31)
	ISO 感度 (P.57)

5

	ダイヤル操作ガイド (P.55)
BKT AWB+	ホワイトバランスブラケット (P.44) ホワイトバランス微調整
	ホワイトバランス (P.36)
	色合い
98	記録可能枚数 (P.56)
残 XXmXXs	記録可能時間※1

タッチタブ

	タッチズーム
	タッチシャッター
	タッチ AE
	ピーキング
	自分撮りモード (P.27)
	ファンクションボタン (P.24)

	色合い
	poke味コントロール
	明るさ (露出)
	ぼかし方 (ジオラマ)
	ワンポイントカラー
	サンシャイン
	画像効果 (フィルター) 調整表示
	画像効果の入 / 切
	画像効果 (フィルター)
	絞り値 (P.48)
	シャッタースピード (P.48)
	ISO 感度 (P.48)

*1 h は「hour (時間)」、m は「minute (分)」、s は「second (秒)」を省略した表示です。

*2 [プロフィール設定] (P.53) を設定時、電源を入れた場合に約 5 秒間表示されます。

*3 電源を入れたとき / 時計設定後 / 再生から撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

メッセージ表示

画面に表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)には、より多くが記載されています。併せてご確認ください。

メモリーカードエラー / フォーマットしますか？	パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット (P.17) してください。 別のカードを入れてお試しください。
リードエラー / ライトエラー / カードを確認してください	カードが確実に入っているか確認してください。 (P.16) 電源を切ってからカードを抜き、再びカードを入れてから電源を入れてください。 別のカードを入れてお試しください。
メモリーカードエラー / このカードは使用できません	対応するカードをご使用ください。 (P.17)
このバッテリーは使えません	パナソニック純正バッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 バッテリーの端子部のごみなどを取り除いてください。
アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした	本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。 無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHzの周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。
通信できませんでした	スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。
消去できない画像があります / この画像は消去できません	DCF 規格に準拠していない画像は消去できません。パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去してください。 (P.17)

Q&A 故障かな？と思ったら

まず、77～80ページの方法をお試しください。

それでも解決できない場合は、

【セットアップ】メニューの【設定リセット】を行うと症状が改善する場合があります。(P.55)

- ・症状が改善しない場合は「保証とアフターサービス」(P.88)をお読みください。

- ・「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)には、より多くが記載されています。併せてご確認ください。

充電ランプが点滅している。	温度が極端に高い、または低いところで充電している。 →周囲の温度が10℃～30℃(バッテリーの温度も同様)のところでUSB接続ケーブル(付属)をつなぎ直し、再度充電をお試しください。
電源を入れても動作しない。 電源を入れてもすぐ切れる。	バッテリーが消耗している。 →充電してください。(P.15)
バッテリーの消耗が早い。	[] (4K プリ連写) で撮影できる状態では、バッテリーの消耗が早くなります。撮影するときだけ [] (4K プリ連写) に設定してください。
ピントが合わない。	撮影可能範囲から外れている。 [フォーカス / レリーズ優先] が [レリーズ] になっている。(P.55) [シャッター半押し AF] が [OFF] になっている。(P.55) 不適切な状態で AF ロック (P.35) がかかっている。 レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合があります。
撮影した画像がブレる。 手ブレ補正が効かない。	暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。 →遅いシャッタースピードで撮影するときは、三脚とセルフタイマー (P.43) の使用をお勧めします。
被写体が曲がって撮影される。	電子シャッター撮影時、動画撮影時または4K フォト撮影時、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。これは、本機の撮像素子であるMOS センサーの特徴であり、異常ではありません。

Q&A 故障かな？と思ったら

続き

蛍光灯や LED などの照明下で、ちらつきや横しまが出る。	本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。 電子シャッターで写真を撮影している場合は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。(P.58)
撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。	蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。 極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。
4K フォトの撮影が途中で止まる。	周囲の温度が高かったり、連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、「  」が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
動画が撮影できない。	容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。
動画撮影が途中で止まる。	周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行ったとき、「  」が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。	高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影する場合に生じる現象ですので、異常ではありません。
フラッシュが発光しない。	次の場合は発光しません。 - 「  」(発光禁止) に設定している。(P.45)
	[シャッター方式] を [自動切換] または [メカシャッター] に設定してください。(P.58)
	[サイレントモード] を [OFF] に設定してください。(P.59)
モニターの表示が一瞬消える	ファインダー / モニター自動切換 (P.20) になっている場合は、ファインダーに目や物が近づくと、アイセンサーの働きにより自動的にファインダー表示に切り換わります。
[LVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。	モニターを開くと自動的にモニター表示に切り換わり、[LVF] ボタンとアイセンサーは無効になります。

<p>再生できない。 撮影した画像がない。</p>	<p>カメラにカードが入っていない。 パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。 → パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P.70)を使うことをお勧めします。 [再生モード] を [通常再生] に設定してください。(P.56)</p>
<p>無線 LAN に接続できない。 電波が途切れる。 無線アクセスポイントが表示されない。</p>	<p>Wi-Fi 接続全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> - 無線 LAN ネットワークの通信圏内でご使用ください。 - 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。 → 機器から十分に離してご使用ください。 - バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー] などのメッセージが表示されます) - 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。 <p>無線アクセスポイントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> - 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。 - 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> → 無線アクセスポイントの近くで接続してください。 → 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。 - 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> → 無線アクセスポイントの電源を切って、入れ直してください。 → 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを 1 ~ 11 チャンネルの中から選び、設定してください。 - 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → ネットワーク SSID を入力して設定してください。もしくは、無線アクセスポイントのネットワーク SSID の非通知設定を解除してください。

Q&A 故障かな？と思ったら

続き

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。	Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザー アカウント（ローカルアカウント / Microsoft アカウント）があります。 → ローカルアカウントを設定して、必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。
Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。	お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。 → [Wi-Fi 設定] の [PC 接続設定] の [変更する] で、接続するパソコンのワークグループ名へ変更してください。
Wi-Fi 機能を使用してパソコン（Mac/Windows）に接続できない。	ログイン名、パスワードが正しく入力されているかご確認ください。 カメラ本体と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OS によっては接続できない場合があります。 → カメラ本体の [時計設定] / [ワールドタイム] が、Windows の「日付と時刻」/「タイムゾーン」または、Mac の「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか、ご確認ください。大きくずれている場合、合わせてください。
Web サービスに画像を送信するのに時間がかかる。 画像送信が途中で失敗する。 送信できなかった画像がある。	画像のサイズが大きすぎませんか？ → [動画分割] で動画を分割してください。（P.63） → [送信サイズ] で画像のサイズを小さくしてください。 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。 → 無線アクセスポイントの近くで送信してください。 送信先により送信できる画像のファイル形式は異なります。
レンズ部から音がする。	電源を入れたり、切ったりするときにレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。 ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。
ズームの動きが一瞬止まる。 本機が熱くなる。 時計が合っていない。	EX 光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。 ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 → 再度時計を設定してください。（P.18）

使用上のお願いとお知らせ

● お手入れの際は、バッテリーまたは DC カプラー（別売：DMW-DCC11）、カード（別売）を取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

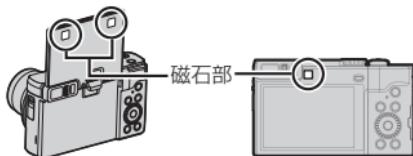
- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- レンズバリア部を触らないでください。



● レンズ部を強く押さないでください。

● レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

● 本機の磁石部にクレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。



出かけるときは予備のバッテリーを準備する

不要になった電池は、
捨てないで充電式電池
リサイクル協力店へ
ご持参ください。



充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- HDMI ロゴがあり、4K に対応したハイスピード HDMI マイクロケーブル（2 m まで）をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpeglal.com>) をご参照ください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニックが独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

上記 (3) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET] ボタン→[セットアップ]→[バージョン表示]→[ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

さらに詳しい説明は

さらに詳しい使い方を知りたいときは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)をお読みください。

「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式) を Web サイトからダウンロードする

「取扱説明書 活用ガイド」は Web サイトからダウンロードできます。

<http://panasonic.jp/support/dsc/oi/index.html?model=DC-TZ90&dest=JP>



■ URL や QR コードを本機で確認する

MENU ボタン→ [セットアップ]
→ [取扱説明書の Web サイト]

設定：[URL 表示] / [QR コード表示]

- 本機のモニターに URL または QR コードが表示されます。

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式) を閲覧・印刷するためには、Adobe Reader が必要です。Adobe Reader は、下記のサイトからダウンロードできます。
(2017 年 5 月現在)

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD Progressive” のロゴはパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi Protected Setup™” 識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



無線 LAN 使用上のお願い

■使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■周波数表示の見方

周波数表示は、[セットアップ] メニュー → [Wi-Fi] の [認証情報] で確認できます。
「認証情報の表示方法」をご覧ください。

2.4DS/OF4

本機が 2.4 GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40 m であることを意味します。

■認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

- ① [セットアップ] メニューの [Wi-Fi] を選ぶ
- ② [Wi-Fi] から [Wi-Fi 設定] を選ぶ
- ③ ▲▼ で [認証情報] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■無線 LAN 接続について

本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えは、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

LUMIX (ルミックス)・ムービーご相談窓口



0120-878-638

06-6907-1187

受付時間
9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三日を除く)

■FAX フリーダイヤル
0120-878-236

仕様

電源：

DC 8.4 V (--- 8.4 V)

消費電力：

1.9 W (モニター撮影時)、2.9 W (ファインダー撮影時)

1.6 W (モニター再生時)、1.6 W (ファインダー再生時)

カメラ有効画素数：

2030 万画素

撮像素子：

1/2.3 型 MOS センサー 総画素数 2110 万画素、

原色カラーフィルター

レンズ：

光学 30 倍ズーム $f=4.3 \text{ mm} \sim 129 \text{ mm}$

(35 mm フィルムカメラ換算 : 24 mm \sim 720 mm)

W 端時 : F3.3 \sim F8.0

T 端時 : F6.4 \sim F8.0

手ブレ補正：

光学式

撮影範囲：

AF :

50 cm (W 端時) \sim 2 m (T 端時) $\sim \infty$

AF マクロ / MF / インテリジェントオート / 動画 :

3 cm (W 端時) \sim 2 m (T 端時) $\sim \infty$

シャッターシステム：

電子シャッター連動メカニカルシャッター

最低被写体照度：

約 10 lx (i ローライト時、シャッタースピード 1/30 秒)

シャッタースピード：

写真 :

30 秒 \sim 1/2000 秒

(シーンガイドモードで [夜景をアーティスティックに撮る] を選択し、メカシャッター使用時)

4 秒 \sim 1/2000 秒 (上記以外、メカシャッター使用時)

1 秒 \sim 1/16000 秒 (電子シャッター使用時)

動画 :

1/2 秒 \sim 1/16000 秒

(クリエイティブ動画モードで [M] に設定し、[MF] 選択時)

1/30 秒 \sim 1/16000 秒 (上記以外)

露出 :

プログラム AE (P)、絞り優先 AE (A)、

シャッター優先 AE (S)、マニュアル露出 (M)

露出補正 (1/3 EV ステップ、-5 EV \sim +5 EV)

測光方式 : マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光

モニター :

3.0 型 TFT 液晶 (3:2) (約 104 万ドット)

(視野率約 100%)

タッチパネル

ファインダー :

0.2 型カラー液晶ライブビューファインダー (4:3)

(約 117 万ドット相当) (視野率約 100%)

[倍率 約 2.59 倍、約 0.46 倍 (35 mm フィルムカメラ換算)、-1 m⁻¹ 50 mm 無限遠時]

(視度調整付き -4 \sim +4 diopter)

フラッシュ：

オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減強制発光 /
スローシンクロ / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止

マイク：ステレオ

スピーカー：モノラル

記録メディア：

SD メモリーカード / SDHC メモリーカード*/
SDXC メモリーカード*

* UHS-I UHS Speed Class 3 対応

記録画像ファイル形式：

写真 : RAW / JPEG (DCF 準拠、Exif2.3 準拠、DPOF 対応)

動画 : AVCHD Progressive / AVCHD / MP4

音声圧縮方式：

AVCHD : Dolby Audio™ (2ch)

MP4 : AAC (2ch)

インターフェース：

[HDMI] : Micro HDMI タイプ D

[USB/CHARGE] :

USB 2.0 (High Speed) / USB 2.0 Micro-B

寸法：

約 幅 112.0 mm × 高さ 67.3 mm × 奥行き 41.2 mm
(突起部除く)

質量：

約 322 g (カード、バッテリー含む)

約 280 g (本体)

推奨使用温度 : 0 °C ~ 40 °C

許容相対湿度 : 10%RH ~ 80%RH

言語切り換え：

[日本語] / [ENGLISH] (英語) / [简体中文] (簡体字中国語) /
[繁體中文] (繁体字中国語) / [한국어] (韓国語)

■ワイヤレス転送部

準拠規格：

IEEE 802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)

使用周波数範囲 (中心周波数) :

2412 MHz ~ 2462 MHz (1 ~ 11ch)

暗号化方式 : Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™

アクセス方式 : インフラストラクチャーモード

AC アダプター : SAE0012B

入力 : 100 V ~ 240 V ~ 50/60 Hz 0.2 A

13 VA (100 V) 18 VA (240 V)

出力 : 5 V == 1.0 A

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BLG10

電圧 / 容量 : 7.2 V / 1025 mAh

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

～ AC (交流)

--- DC (直流)

□ クラス II 機器 (二重絶縁構造)

• この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

CLUB Panasonic 商品登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方に商品登録をお願いしています。

ぜひ、この機会に商品登録をお願いいたします。

※ 皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典 1	●お持ちの家電商品、消耗品情報が一元管理できる！
ご登録特典 2	●登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる！
ご登録特典 3	●登録者限定のキャンペーンに参加できる！ ●登録商品のサポートも充実

お問い合わせ先：CLUB Panasonic 事務局
(club-info@panasonic.jp)

ご登録手順

下記のいずれかを選んでください。

■スマートフォン・携帯電話からの登録方法

- QR コードを使ってアクセスする場合



- URL を入力してアクセスする場合
<https://club.panasonic.jp/aiyo/>

■パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。
<https://club.panasonic.jp/aiyo/>

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い求め先へご相談ください。
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q&A 故障かな?と思ったら」(本書および取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)) でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリーと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリーも一緒に修理をご依頼ください。

● 製品名 デジタルカメラ

● 品 番 DC-TZ90

● 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保証書承诺内容、仅限于产品在日本国内使用时有效。

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



LUMIX (ルミックス)・ムービー 使い方・お手入れなどのご相談窓口



携帯OK

0120-878-638

パナは ロクサンハチ 受付時間
9:00~18:00
月~土曜日
(祝日・正月三が日を除く)



■上記電話番号がご利用
いただけない場合
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

06-6907-1187

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。



修理に関するご相談窓口



携帯OK

0120-878-554

■上記電話番号が
ご利用いただけない場合
03-6633-6700



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

- パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
- また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
- 個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体や AC アダプターが破損した
- ・その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、AC アダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実

詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>





＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体貼り付ラベル等の注意書に従つた使用状態で保証期間内に故障し、保証期間内に修理ご依頼いたしました場合には、無料修理をさせています。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、取扱説明書から切り離した本書を添え、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
- ご車両の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入された販売店で修理をお受けになれない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合は、原則として有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - 取付場所の移設、輸送、落下、衝撃などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害による故障及び損傷
 - 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - 車載を目的とした機器(但不限于)
 - 電池や消耗または摩耗した部品交換の場合
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用など)に使用された場合や指定外の動作環境で使用された場合の故障及び損傷
 - 本書のご添付かしない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理等を行った場合の出張料は、お客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 修理ご相談窓口は、本書表面をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございましてご承くください。

※本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証書を発行するお保証するものです。したがって、この保証書によつて修理を行つてゐる者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間にについては、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご覧ください。

※修理に際し、本体交換による修理や再生部品、代替部品を使用する場合がございます。交換した本体、再生部品は回収させていただきます。

※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

デジタルカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には、本書裏面記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	DC-TZ90		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
※お買い上げ日	二〇	年	月
※お客様	ご住所	お名前	様
※販売店	住所・販売店名	電話()	—
電話() —			

パナソニック株式会社
パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション株式会社
〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号 修理ご相談窓口 (0120) 878-554
ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。